

履 修 案 内

平 成 24 年 度

佐 賀 大 学 大 学 院
経 済 学 研 究 科

目 次

平成24年度 学年暦及び年間行事予定表	2
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	4
学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）	6
授業科目の選び方	8
履修モデル	9
履修について	10
修了要件と学位	10
研究指導計画	10
修士論文要領	11
教 員 免 許	13
社会人のための特例による教育の実施について	16
経済学研究科規則	17
経済学研究科履修細則	20
開講科目（24年度・25年度）	25
講義概要（24年度前学期・後学期）	31
大学院マニュアル	
学生センター平面図	71
大学院教務担当のお知らせ	72
授業料免除と奨学金制度	72
学生相談・保健管理センター	73
研究図書室の利用	74
情報演習室の利用	78
地域経済研究センターの利用	79
経済学会のご案内	80
大学院生室利用規則	81
教員研究室等案内図	83

平成24年度 学年暦及び年間行事予定表

月	日	曜	学 年 暦	行 事
4	1	日	前学期始, 春季休業 (4月5日まで)	学友会及びサークル紹介 (4日)(予定) 新入学生健康診断 (2日まで) 前学期授業時間割発表 (3月30日)
	3	火	平成24年度入学式	研究科オリエンテーション (教育学・経済学・医学系・工学系) 学部オリエンテーション(医)(5日まで) 学生会紹介 (医学部のみ)
	4	水		学部オリエンテーション (文化教育, 経済, 理工, 農) 研究科オリエンテーション (農学)
	6	金	前学期開講	
7	17	火		月曜日の代替日
	24	火		前学期定期試験時間割発表
	31	火		前学期定期試験 (8月6日まで)
8	8	水	夏季休業 (9月30日まで)	
	9	木		オープンキャンパス (予定)
9	21	金	平成24年度学位記授与式 <9月期>	
	24	月		後学期授業時間割発表
	30	日	前学期終	
10	1	月	開学記念日, 後学期始 後学期開講	
	5	金	平成24年度大学院入学式 (工学系博士後期課程等)	
12	26	水	冬季休業 (1月6日まで)	

月	日	曜	学 年 暦	行 事
1	7	月	冬季休業明け授業開始	
	15	火		金曜日の代替日
	19	土		平成25年度大学入試センター試験 (1月20日まで)
	30	水		金曜日の代替日 後学期定期試験時間割発表
	31	木		月曜日の代替日
2	6	水		後学期定期試験(2月13日まで) (2/13は月曜日の試験日)
	25	月		平成25年度個別学力検査(前期日程) 入学試験(2月26日まで)
3	12	火		平成25年度個別学力検査(後期日程) 入学試験(3月13日まで)
	25	月	平成24年度学位記授与式 〈3月期〉	
	31	日	後学期終	

7月25日・27日・30日, 8月7日, 12月25日, 2月4日・5日・14日は風水害対応の予備日
12月21日, 2月1日は入試対応の予備日

(参考) 平成25年度

4	1	月	前学期始, 春季休業 (4月4日まで)(予定)	
	3	水	平成25年度入学式	
	4	木		学部オリエンテーション(予定)
	5	金	前学期開講(予定)	

注: 予備日については, 通常の休講等に対応するものではなく, 入試試験及び台風等の風水害の到来
他による大学全体の臨時休業等に充当するものである。

教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

教育研究の理念と目的

経済学研究科の教育目的は、「経済学及び経営学・法律学の教育・研究によって幅広い視野と豊かな応用力を培い、知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成すること」(「経済学研究科規則」第1条)である。各専攻では、教育目的を達成するための教育の目標を掲げ、それにしたがって開講科目の設置趣旨を定め、カリキュラムを編成している。

経済学研究科の2専攻とも、基礎科目4単位を必修とするほか、「総合セミナー」2単位と「演習Ⅰ」・「演習Ⅱ」8単位を必修科目としている。そのほかに各専攻の選択科目を履修することを定めている。

全教員がオンラインでのシラバスを作成しており、授業科目ごとの成績評価基準をシラバスに明示している。

成績評価基準を佐賀大学大学院学則第17条の2に定め、修了要件を第18条に定めている。修了認定について、2専攻において組織的に判定し、研究科委員会の議を経て決定している。

教育目標及び開講科目の設置趣旨

金融・経済政策専攻

1 教育目的

国際経済、国民経済、地域経済等の諸問題を経済学・法律学の方法により解明し、実践的課題に対応しうる人材を養成すること

2 教育目標

日本国内のみならず国際的、地域的な現代経済社会の構造と、諸問題・課題の発生とそれに対応するための企業、地域、国家、国際的な政策について、理論的あるいは実践的に研究し、広い視野と深い洞察に基づいて課題の発見と解決の方途を探究する能力を養成する。

- (1) 金融・経済政策のなかの基礎的な分野の研究と教育。
- (2) 情報処理や外国語能力などの研究のための基礎的スキルを身につける。
- (3) 経済社会の構造を理論的に把握する能力と、歴史的に、国際的な比較のなかで、またグローバルな関係として把握する能力を身につける。
- (4) 地域社会や国民経済の抱える経済問題を把握し、その経済的、法的な解決方を解明する能力を身につける。
- (5) 個別的・具体的課題を設定した研究の指導。

3 対応する開講科目の設置

- (1) の目標に対応して、基礎的な科目として「金融経済論研究」「産業政策論研究」「公共財政論研究Ⅰ」「行政基礎法研究Ⅰ」により、金融、産業、政府の役割を考える。
- (2) の目標に対応して、「情報基礎」「実用外国語」の必修科目によりスキルを向上させる。
- (3) の目標に対応して、「マクロ経済データ分析研究」「応用計量経済学研究」「社会選択理論研究」「数理経済分析研究」による理論的分析能力を磨き、「日本社会史研究」「日本アジア比較経済史研究」「西欧産業社会構造分析研究」により歴史的な把握能力を高め、「発展途上国経済論研究」「開発経済学研究」「比較労働経済研究Ⅰ・Ⅱ」により、国際的比較やグローバルな視野で経済構造を把握する能力を向上させる。
- (4) の目標に対応して、地域社会と地方自治体、産業と産業の構造、市民社会と政府との関係を把握するために、「農業経済論研究」「地域農業政策研究」「地域経済社会論研究」「経済地理学研究」「地域経済論研究」「地域政治研究」「地方自治法制研究」「地域福祉研究」「地方財政研究」「政策評価研究」「行政基礎法研究Ⅱ」「福祉政策研究」「公共財政論研究Ⅱ」により、問題や課題の解決能力を身につける。
- (5) 「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「総合セミナー」「フィールドワーク」により、個別的・具体的課題を設定して理論的、実践的に研究を深め、2年間をかけて修士論文を作成・発表する。指導教員により課題研究、論文作成を指導する。

企業経営専攻

1 教育目的

企業経営等の諸問題を経営学・法律学の方法により解明し、実践的課題に対応しうる人材を養成すること

2 教育目標

経済のグローバル化、情報技術の発展、産業構造の変化など企業・経営をとりまく環境の変化に対応するために、幅広い専門知識に裏づけられた現状認識と深い洞察力が求められる。それに対応して、経営・会計・法律にわたる広く確かな基礎知識を身につけ、課題の発見と解決能力をもった人材を養成する。

- (1) 企業経営のなかの基礎的な分野の研究と教育。
- (2) 情報処理や外国語能力などの研究のための基礎的スキルの修得。
- (3) 情報通信技術・資源と統計的情報を分析・活用する能力を身につける。
- (4) 企業の機構と経営資源の展開に関する諸問題を理論的、歴史的に把握するとともに、その解決方法を導き出す能力を身につける。
- (5) 企業および経営に関する諸問題を法的側面から把握・解明して、その解決策を見出す能力を身につける。

(6) 個別的・具体的課題を設定した研究の指導。

3 対応する開講科目の設置

- (1) の目標に対応して、基礎的な科目として「マーケティング論研究」「流通経済論研究」「経営分析論研究」「経済法研究Ⅰ」「契約法研究」により、企業活動の戦略、経営分析、法的な取り決めなどの広く基礎的企業経営に関する基礎知識を身につける。
- (2) の目標に対応して、「情報基礎」「実用外国語」の必修科目によりスキルを向上させる。
- (3) の目標に対応して、「地域データ解析研究」「統計情報研究」「時系列データ解析研究」「応用統計研究」により統計データの分析能力を向上させ、「情報処理研究」「情報システム論研究」「情報資源管理研究」「応用通信システム研究」「経営情報システム研究」により情報通信の技術や資源を活用する能力を身につける。
- (4) の目標に対応して、「組織論研究Ⅰ」「組織論研究Ⅱ」「経営組織論研究」，「投資決定研究」「企業論研究」「法と経済研究」，「現代労使関係研究Ⅰ」「現代労使関係研究Ⅱ」「経営史研究」「経営管理史研究」により経営管理を理論的、歴史的に把握する能力を身につけ、「流通システム論研究」「商業経済論研究」により市場と企業活動の分析・実践的能力を身につける。また、「経営財務論研究」「簿記論研究」「財務会計論研究」「管理会計論研究Ⅰ」「管理会計論研究Ⅱ」「国際会計論研究」により財務・会計から企業経営を把握する能力を身につける。
- (5) の目標に対応して、「企業法研究Ⅰ」「企業法研究Ⅱ」「会社法研究」により企業組織の法制度を、「労働関係法研究」「福利厚生関係法研究」「企業福祉法研究」により企業経営の法的責任と法制度について、「民法研究Ⅰ」「民法研究Ⅱ」「産業経済法研究」「経済法研究Ⅱ」「環境法研究Ⅰ」「環境法研究Ⅱ」「刑法研究」「経済刑法研究Ⅱ」により企業間取引の基本的ルールと企業責任について、法律的に把握し、解決する能力を身につける。
- (6) 「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「総合セミナー」「フィールドワーク」により、個別的・具体的課題を設定して理論的、実践的に研究を深め、2年間をかけて修士論文を作成・発表する。指導教員により課題研究、論文作成を指導する。

学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)

経済学研究科修士課程の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）において、経済学研究の教育目的および目的を実現するための教育目標を述べ、専攻ごとに身につけさせる学習成果を示している。

学修の成果に係る評価及び修了の認定の客観性と厳密性を確保するため、学生に対してすべてのシラバスにおいて、成績評価基準をあらかじめ明示し、その基準にしたがって適切に評価する。

異議申し立て制度により、成績評価の正確さを保証する。

修了認定は、2専攻とも制度に則って判定し、研究科委員会の議を経て決定している。

金融・経済政策専攻

1 学生に身につけさせる能力

国際経済、国民経済、地域経済のなかで生起する諸問題について、経済学と法律学の理論的、歴史的、政策的な幅広い視野から解明して、実践的に対応しうる研究能力を身につけている。

2 学位の審査方法

学生の取得単位数を研究科教務委員会において判定し、修士論文審査報告書をもとに研究科委員会で判定し、研究科委員会の議を経て修了認定を行っている。

企業経営専攻

1 学生に身につけさせる能力

経営管理や会計などの経営学、企業活動に関係する法律学の専門知識を身につけるとともに、企業経営の抱える諸問題について実践的に対応しうる研究能力を身につけている。

2 学位の審査方法

学生の取得単位数を研究科教務委員会において判定し、修士論文審査報告書をもとに研究科委員会で判定し、研究科委員会の議を経て修了認定を行っている。

授業科目の選び方

- (1) 教育研究分野・授業科目の内容及び担当教員を参照しながら設定する。
- (2) 多様な高度知的人材の養成という研究科の目的にそって、研究科修了後の進路に対応した履修モデルを示しておく。

〈金融・経済政策専攻〉

金融機関勤務	金融・政策分析分野の科目を中心に、数量経済分析分野、企業関係法分野の科目も選ぶ。
自治体勤務	地域・福祉政策分野の科目を中心に、金融・政策分析分野、比較経済分野の科目も選ぶ。
国際経済研究に関する仕事	比較経済分野の科目を中心に、金融・政策分析分野、地域・福祉政策分野の科目も選ぶ。
公民科教員	数量経済分析分野、金融・政策分析分野、地域・福祉政策分野の科目を中心に選ぶ。

〈企業経営専攻〉

企業法務担当者	企業関係法分野の科目を中心に、会計分野、金融・政策分析分野の科目も選ぶ。
経理専門職	会計分野の科目を中心に、統計情報分野、経営管理分野の科目も選ぶ。
商業科教員	経営管理分野、会計分野、統計情報分野の科目を中心に選ぶ。

博士課程進学を希望する学生は、指導教員と相談のうえ履修計画をつくる。

(3) 講義及び演習

講義：履修モデルをなす各授業科目について、教員の講義と学生による討論

演習：学生自らの研究分野を中心とする発表と教員の討論

共通科目：コンピュータの利用法など、コンピュータに関する情報基礎並びにネイティブスピーカーによる経営・経済の実務に必須の実用外国語の学修

基礎科目：1年生を対象に金融・経済政策専攻、企業経営専攻のそれぞれの専攻の基礎をなす科目であり、各専攻分野の基礎的素養の涵養を目的として開講する。

フィールドワークⅠ，Ⅱ：学外での調査研究とレポート作成で実践的能力を養う。

総合セミナー：2年生対象。論文作成能力を養うため、学生自身が本人の研究テーマを中心として、専攻分野の複数の教員と学生から構成されるグループで発表、討議を行う。

必修、選択の内訳、○は単位数

必修科目 14単位	基礎科目④（②×2），演習Ⅰ④，演習Ⅱ④
選択必修 2単位	総合セミナー②
選択科目	情報基礎②，実用外国語②
	いずれか1科目
	7科目14単位以上 フィールドワークⅠ，Ⅱ

演習Ⅰ，演習Ⅱは通年科目。

総合セミナーは2年次，夏季集中として実施。

フィールドワークⅠ，Ⅱは集中講義として実施。

＜金融・経済政策専攻＞

I. 金融・産業政策履修モデル

	演 習	共通科目	基礎科目	専門科目	履修登録 単 位 数
1 年前期	演習 I	実用外国語	金融経済論研究	社会選択理論研究 企業論研究	10
1 年後期	演習 I		産業政策論研究	発展途上国経済論研究 政策評価研究 地域経済社会論研究	10
2 年前期	演習 II 総合セミナー			応用計量経済学研究 公共財政論研究 II	8
2 年後期	演習 II				2
修了要件単位数	10	2	4	14	30

II. 公共経済履修モデル

	演 習	共通科目	基礎科目	専門科目	履修登録 単 位 数
1 年前期	演習 I	実用外国語	金融経済論研究 公共財政論研究 I	企業論研究	10
1 年後期	演習 I			産業政策論研究 経済地理学研究 地域経済社会論研究 地域福祉研究	10
2 年前期	演習 II 総合セミナー			応用計量経済学研究 公共財政論研究 II	8
2 年後期	演習 II				2
修了要件単位数	10	2	4	14	30

* 演習 I, 演習 II は通年科目。総合セミナーは夏期集中講義。

＜企業経営専攻＞

I. 経営学履修モデル

	演 習	共通科目	基礎科目	専門科目	履修登録 単 位 数
1 年前期	演習 I	情報基礎	マーケティング論研究	商業経済論研究 組織論研究 I 環境法研究 I	12
1 年後期	演習 I		経営分析論研究	管理会計論研究 I	6
2 年前期	演習 II 総合セミナー			流通システム論研究 法と経済研究 組織論研究 II	10
2 年後期	演習 II				2
修了要件単位数	10	2	4	14	30

II. 会計学履修モデル

	演 習	共通科目	基礎科目	専門科目	履修登録 単 位 数
1 年前期	演習 I	情報基礎	マーケティング論研究	簿記論研究 統計情報研究	10
1 年後期	演習 I		経営分析論研究	管理会計論研究 I 財務会計論研究 産業政策論研究	10
2 年前期	演習 II 総合セミナー			法と経済研究	6
2 年後期	演習 II			国際会計論研究	4
修了要件単位数	10	2	4	14	30

* 演習 I, 演習 II は通年科目。総合セミナーは夏期集中講義。

履修について

- 1 Webによる履修登録になるので、詳しくは掲示を見ること。不明な点があれば教務課経済学研究科教務担当に問い合わせること。

(未定教科があっても、まず登録して後日の確認期間内に修正が行える。)

フィールドワーク、総合セミナーは学期途中から開始されるので、その都度履修登録手続きをすること。

- 2 演習、フィールドワークの時間割は、教員と学生との話し合いにより決定する。
- 3 一般選抜、外国人留学生特別選抜による学生は、課程修了に必要な30単位のうち、10単位以内を夜間の授業時間で履修し、単位を修得することができる。
ただし、基礎科目のうち4単位、及び演習については制限10単位には含めない。

修了要件と学位

(1) 修了要件

本研究科に原則として2年以上在学して、所定の授業科目について30単位（演習8単位、その他22単位）以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、本研究科に1年以上在学すれば足りるものとする。

(2) 学 位

上記修了要件を満たした者には、修士（経済学）の学位を授与する。

研究指導計画

基礎科目により基礎的素養を涵養し、履修モデルをなす授業科目により高度知的人材となる学力を涵養し、フィールドワーク、共通科目（情報基礎、実用外国語）によって実践的能力を養う。

入学時に、指導教員と相談のうえ研究題目を提出する。2年次に受講する「総合セミナー」の前までに修士論文の題目を絞込み提出期限までに修士論文を完成させる。論文作成に必要な資料収集・分析、文献解説・考証などの能力は「演習」によって養い、「総合セミナー」ではグループ討議・報告により幅広い視野からの論文作成能力を養う。

1年	4月	研究題目の提出
2年	夏季休暇中	総合セミナーにおいて報告
2年	12月20日	論文題目の提出期限
2年	1月10日	修士論文および論文要旨の提出

修士論文要領

(提出者)

- 1 所定の授業科目の単位を修得した者又は修得見込みの者は修士論文を届出ることができる。

(提出期限)

- 2 修士論文の提出期限は1月10日午後5時とし、毎年12月20日午後5時までに論文題目を提出するものとする。(期限日が土曜、日曜、休日の場合は直後の平日を期限日とする。)

(使用言語)

- 3 修士論文は日本語を原則とする。なお外国語については申し出により考慮する。

(字 数)

- 4 修士論文の字数は2万字(例400字詰原稿用紙50枚)以上とし、あわせて論文要旨(1000字以内)を提出するものとする。

ただし修士論文の字数については申し出により、内容及びテーマを勘案して別途考慮することもある。

なお外国語論文の場合の字数(論文要旨の字数も含む)については上記3の考慮の際あわせて考慮する。

(提出部数)

- 5 修士論文、論文要旨とも各4部提出するものとする。ただし3部はコピーでもよい。

(言語と字数につき別途考慮を求める者の手続き)

- 6 上記3、4に定める別途考慮を求める者は予めその旨を指導教員に申し出て、許可を受けなければならない。

なお許可を受けた場合は論文題目提出時にその旨を付記するものとする(付記のない場合は2万字以上の日本語による論文提出予定者とみなす)。許可、不許可は指導教員が通知する。

(用 紙)

- 7 修士論文及び論文要旨に原稿用紙を用いる場合はA4判400字詰原稿用紙を使用するものとする。ワープロを用いる場合はA4判白紙を使用し、全角を1字として1ページに1200字程度になるよう印字するものとする。

(面 接)

- 8 修士論文提出者は指導教員が指定する日時(2月中を予定)に論文に関する面接をうけなければならない。

(修士論文の評価基準)

- 9 (1) 修士論文の題目に関する文献・資料を広く渉猟していること。
(2) 当該研究分野の既存の研究動向をよく踏まえていること、そして独自の分析視点が組み入れられていること。
(3) 上記内容が首尾一貫性を有し、目次、結論、論文要旨を通じ、論文全体の構成が明快になっていること。
(4) 修士論文審査における質疑応答において明晰な論文内容・趣旨が報告・説明されること。

(修士論文題目届出様式例)

平成 年 月 日	
佐賀大学大学院 経済学研究科長 様	
専攻名	
学籍番号	
氏 名	印
経済学研究科修士論文題目名の届出について	
このことについて、経済学研究科修士論文要領第2に基づき下記のとおり届出いたします。	
記	
1. 修士論文題目名	
2. 指導教員名	
指導教員	印
副指導教員	
3. その他特記事項(経済学研究科修士論文要領3及び4について、該当があればその旨を記載)	

社会，公民，商業の専修免許状

既に中学校教諭一種免許状（社会），または高等学校教諭一種免許状（公民，商業）を取得している者は，本研究科において所定の単位を修得すれば当該教科の専修免許状（中学校，高等学校）を取得することができる。

専攻	教育職員免許状の種類	免許の教科
金融・経済政策専攻	中学校教諭専修免許状	社会
	高等学校教諭専修免許状	公民
企業経営専攻	高等学校教諭専修免許状	商業

教員免許種別授業科目

専攻名	教育・研究分野	授 業 科 目	教員名	免 許 種 別		
				中学校	高 校	
				社 会	公 民	商 業
金 融 ・ 経 済 政 策	数量経済分析	数理経済分析研究	都 築	○	○	
		マクロ経済データ分析研究	上 山和	○	○	
		現代経済分析研究	上 山和	○	○	
		応用計量経済学研究	上 山和	○	○	
		社会選択理論研究	都 築	○	○	
		上級マクロ経済学研究	谷	○	○	
		動学マクロ経済学研究	谷	○	○	
	金融・政策分析	金融経済論研究	米 倉	○	○	○
		国際金融・証券論研究		○	○	○
		国際金融論研究	米 倉	○	○	○
		産業政策論研究		○	○	
		農業経済論研究	品 川	○	○	
		公共財政論研究Ⅰ	納 富	○	○	
		公共財政論研究Ⅱ	納 富	○	○	
	比較経済	日本産業経済史研究		○		
		近代日本資本主義史研究		○		
		日本社会史研究	宮 島	○		
		日本アジア比較経済史研究		○		
		西欧産業社会構造分析研究		○		
		比較経済思想研究		○	○	
		産業史研究		○		
		発展途上国経済論研究	ラタナーヤカ	○		
		開発経済学研究	ラタナーヤカ	○		
		比較労働経済研究Ⅰ	富 田	○	○	
		比較労働経済研究Ⅱ	富 田	○	○	
	地域・福祉政策	経済地理学研究	戸 田	○		
		地域経済論研究	戸 田	○		
		地域農業政策研究		○		
		地域経済社会論研究		○		
		地域福祉研究	森	○	○	
		福祉政策研究	森	○	○	
		行政基礎法研究Ⅰ	井 上	○	○	
		行政基礎法研究Ⅱ	井 上	○	○	
		地方自治法制研究	奈 須	○	○	
		地域政治研究	畑 山	○	○	
		政策評価研究	中 西	○	○	
		地方財政研究	中 西	○	○	

専攻名	教育・研究分野	授 業 科 目	教員名	免 許 種 別		
				中学校	高 校	
				社 会	公 民	商 業
企業経営	統計情報	情報処理研究				○
		情報システム論研究				○
		地域データ解析研究	常 盤			○
		情報資源管理研究				○
		応用通信システム研究	安 田			○
		経営情報システム研究	羽 石			○
		統計情報研究	田 川			○
		時系列データ解析研究	中 村			○
		応 用 統 計 研 究	中 村			○
	経営管理	経営財務論研究	大 坪			○
		経 営 史 研 究	山 本	○		○
		現代労使関係研究Ⅰ	平 地	○		○
		現代労使関係研究Ⅱ	平 地	○		○
		投 資 決 定 研 究				○
		経営管理史研究	山 本			○
		組 織 論 研 究 Ⅰ	松 尾			○
		組 織 論 研 究 Ⅱ	松 尾			○
		企 業 論 研 究	三 好			○
		法 と 経 済 研 究	三 好			○
		マーケティング論研究				○
		流通システム論研究				○
		商業経済論研究	宮 崎			○
		流通経済論研究	宮 崎			○
	会計	財務会計論研究	山 形			○
		簿 記 論 研 究	木戸田			○
		管理会計論研究Ⅰ	小 川			○
		管理会計論研究Ⅱ	小 川			○
		経営分析論研究	山 下			○
		国際会計論研究	山 下			○
	営企業関係法	企業法研究Ⅰ	小 西	○		○
		企業法研究Ⅱ	小 西	○		○
		会 社 法 研 究		○		○
		労働関係法研究		○		○
		福利厚生関係法研究	丸 谷	○		○
		企業福祉法研究	丸 谷	○		○
		産業経済法研究		○		○
		経済法研究Ⅰ		○		○
		経済法研究Ⅱ		○		○
		環境法研究Ⅰ	檜 澤	○		○
		環境法研究Ⅱ	檜 澤	○		○
		民 法 研 究 Ⅰ	栗 林	○		○
		民 法 研 究 Ⅱ	栗 林	○		○
		契 約 法 研 究	中 山	○		○
		刑 法 研 究		○		○
		経済刑法研究		○		○
	共通科目	情 報 基 礎				
		実 用 外 国 語				
	単 位 数	必 要 単 位 数		24以上	24以上	24以上

社会人のための特例による教育の実施について

大学院設置基準第14条では、「修士課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合は、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」と規定され、社会人等の修学に配慮がなされています。

本学大学院経済学研究科では、大学院での履修を希望する社会人に対し、同条に定める教育方法の特例による教育を実施しています。

この概要は、次のとおりです。

- (1) 特例の適用を受ける者は、修業年限2年間にわたり夜間における履修を認められる。
- (2) 特例の適用により履修しようとする者のため、夜間の授業時間帯を2時限（18:00～19:30及び19:40～21:10）設ける。
- (3) 学生には、年度始めに2年間にわたる講義計画を予告し、指導教員の指導のもとに2年間を見通した履修計画を立てさせる。

（注） 一般選抜により入学を許可された社会人であっても、特例の適用を受けることができる。

経済学研究科規則

(趣 旨)

第1条 佐賀大学大学院経済学研究科（以下「研究科」という。）に関する事項は、国立大学法人佐賀大学規則（平成16年4月1日制定）、佐賀大学大学院学則（平成16年4月1日制定。以下「大学院学則」という。）及び佐賀大学学位規則（平成16年4月1日制定。以下「学位規則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(研究科の目的)

第1条の2 研究科は、経済学及び経営学・法律学の教育・研究によって幅広い視野と豊かな応用力を培い、知識基礎社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成することを目的とする。

(専攻の目的)

第1条の3 研究科の各専攻の目的は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 金融・経済政策専攻 国際経済、国民経済、地域経済等の諸問題を経済学・法律学の方法により解明し、実践的課題に対応しうる人材を養成すること。
- (2) 企業経営専攻 企業経営等の諸問題を経営学・法律学の方法により解明し、実践的課題に対応しうる人材を養成すること。

(専攻及び講座)

第2条 研究科の専攻に次の講座を置く。

専 攻 名	講 座 名
金融・経済政策専攻	経営システム、地域政策、国際経済社会、経済情報、法政策
企業経営専攻	

(指導教員)

第3条 学生の専攻分野の研究を指導するため、学生ごとに指導教員を置く。

(授業科目、単位数及び履修方法)

第4条 授業科目、単位数及び履修方法は、佐賀大学大学院経済学研究科履修細則（平成16年4月1日制定）に定めるところによる。

- 2 教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

(他の大学院等における授業科目の履修)

第5条 学生は、大学院学則第14条の規定に基づき、他の大学院及び外国の大学院の授業科目を履修することができる。

- 2 指導教員は、研究指導上必要があると認めるときは、学生が他専攻及び他の研究科の授業科目を履修することを認めることができる。

(入学前の既修得単位の認定)

第6条 研究科が必要と認めたときは、大学院学則第15条の規定に基づき、学生が大学院に入学する前に大学院又は他の大学院において履修した授業科目について修得した単位を、大学院に入学した後の大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(他の大学院等における研究指導)

第7条 学生は、大学院学則第17条の規定に基づき、他の大学院又は研究所等（外国の大学院又は研究所等を含む。）において、必要な研究指導を受けることができる。ただし、当該研究指導を受ける期間は1年を超えないものとする。

2 指導教員は、研究指導上必要があると認めるときは、学生が他の研究科において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし、当該研究指導を受ける期間は1年を超えないものとする。

(履修手続)

第8条 履修しようとする授業科目については、各学期とも所定の期間に定められた方法により履修手続をしなければならない。ただし、学期の途中から開始される授業科目については、その都度履修手続をしなければならない。

(成績判定及び単位の授与)

第8条の2 授業科目を履修した場合には、成績判定の上、合格した者に対して所定の単位を与える。

2 成績判定は、平素の学修状況、出席状況、学修報告、論文及び試験等によって行う。

3 成績は、秀・優・良・可・不可の評語をもって表わし、秀・優・良・可を合格とし、不可は不合格とする。

(試験)

第9条 試験は、毎学期末又は毎学年末において授業担当教員が行う。

(学位論文の提出)

第10条 学位規則第7条第1項の規定により、修士の学位の授与を受けようとする者は、申請書類とともに、学位論文を指定した期日までに研究科長に提出しなければならない。

(学位論文審査員)

第11条 佐賀大学大学院経済学研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）は、修士論文の審査のため、研究科の教員の中から3人以上の学位論文審査員（以下「審査員」という。）を選出し、うち1人を主査とする。

2 前項の規定にかかわらず、学位論文の審査に当たって必要があるときは、研究科委員会の議を経て、他の研究科、他の大学院又は研究所等（外国の大学院又は研究所等を含む。）の教員等を審査員に加えることができる。

(入学者の選考)

第12条 入学者の選考は、その志望する専攻を修めるために必要な学力及び能力について行う。

(研究生及び科目等履修生)

第13条 研究科の教育研究に支障のないときは、研究科委員会の議を経て、研究生及び科目等履修生の入学を認めることができる。

2 研究生及び科目等履修生として入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第52条に定める大学を卒業した者

(2) 研究科委員会において前号と同等以上の学力があると認められた者

(特別研究学生)

第14条 研究科は、他の大学院又は外国の大学院等との協議に基づき、他の大学院等の学生が特別研究学生として研究指導を受けることを認めることができる。

(特別聴講学生)

第15条 研究科は、他の大学院又は外国の大学院等との協議に基づき、他の大学院等の学生が特別聴講学生として授業科目を履修することを認めることができる。

(転入学又は再入学を許可された者の既修得単位等の認定)

第16条 研究科に転入学又は再入学を許可された者が、佐賀大学の大学院又は他の大学院（外国の大学院を含む。）で既に修得した単位数及び在学した期間は、研究科委員会の議を経て通算することができる。

(雑 則)

第17条 この規則に定めるもののほか、研究科に関し必要な事項は、研究科委員会において定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成19年7月20日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

2 平成19年3月31日において現に在学する者（以下「在学者」という。）及び在学者の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

経済学研究科履修細則

(趣 旨)

- 第1条 佐賀大学大学院経済学研究科規則（平成16年4月1日制定。以下「研究科規則」という。）
第4条の規定に基づく佐賀大学大学院経済学研究科（以下「研究科」という。）の授業科目、単位数及び履修方法は、この細則の定めるところによる。

(授業科目、単位数及び履修方法)

- 第2条 授業科目及び単位数は、各専攻ごとに別表Ⅰ、別表Ⅱ及び別表Ⅲに定めるとおりとする。
- 2 学生は、各専攻ごとに別表Ⅰ又は別表Ⅱに掲げる自専攻の授業科目から22単位以上（基礎科目から4単位以上、演習Ⅰ4単位、演習Ⅱ4単位、及び総合セミナー2単位を含む。）、自専攻又は他専攻の授業科目から6単位以上、別表Ⅲの共通科目の中から2単位以上の計30単位以上を履修しなければならない。
- 3 演習については、演習Ⅰ、演習Ⅱを2年間にわたり履修するものとする。
ただし、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとし、自専攻の授業科目をもって演習Ⅱに代えることができる。

(単位認定)

- 第3条 研究科規則第5条及び第6条の規定により履修した授業科目の単位数は、6単位を限度として、前条第2項に定める自専攻又は他専攻の授業科目から6単位のうちに含めることができる。
- 2 佐賀大学教育学研究科における開講科目のうち別表Ⅳ「他研究科共通科目」に掲げる授業科目の履修による単位数は、前条第2項に定める自専攻又は他専攻の授業科目から6単位のうちに含めることができる。
- 3 成績評価は、試験、レポート、平素の発表等により行う。

附 則

この細則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成16年10月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この細則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日において現に研究科に在学する者は、なお従前の例による。

附 則

この細則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この細則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日において現に研究科に在学する者は、なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日において現に研究科に在学する者（以下、「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降において在学者の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この細則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において現に研究科に在学する者（以下、「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降において在学者の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

別表Ⅰ（第2条関係）

金融・経済政策専攻

科目区分	教育・研究分野	授 業 科 目	単 位 数	備 考
基礎科目		金融経済論研究	2	4単位選択必修
		公共財政論研究Ⅰ	2	
		行政基礎法研究Ⅰ	2	
		社会選択理論研究	2	
		政策評価研究	2	
専門科目	数量経済分析	数理経済分析研究	2	
		マクロ経済データ分析研究	2	
		現代経済分析研究	2	
		応用計量経済学研究	2	
		動学マクロ経済学研究	2	
		上級マクロ経済学研究	2	
	金融・政策分析	国際金融・証券論研究	2	
		国際金融論研究	2	
		国際経済政策研究	2	
		農業経済論研究	2	
		公共財政論研究Ⅱ	2	
		産業政策論研究	2	
	比較経済	日本産業経済史研究	2	
		近代日本資本主義史研究	2	
		日本社会史研究	2	
		日本アジア比較経済史研究	2	
		西欧産業社会構造分析研究	2	
		比較経済思想研究	2	
		産業史研究	2	
		発展途上国経済論研究	2	
		国際関係論研究	2	
		開発経済学研究	2	
	地域・福祉政策	比較労働経済研究Ⅰ	2	
		比較労働経済研究Ⅱ	2	
		経済地理学研究	2	
		地域経済論研究	2	
		地域農業政策研究	2	
		地域経済社会論研究	2	
		地域福祉研究	2	
		福祉政策研究	2	
		行政基礎法研究Ⅱ	2	
		地方自治法制研究	2	
目		地域政治研究	2	
		地方財政研究	2	
		演 習 Ⅰ	4	
		演 習 Ⅱ	4	
		総合セミナー	2	
		フィールドワークⅠ(金融・経済政策)	2	演習Ⅰ，演習Ⅱ， 総合セミナーは 必修
		フィールドワークⅡ(金融・経済政策)	2	

別表Ⅱ（第2条関係）

企業経営専攻

科目区分	教育・研究分野	授業科目	単位数	備考
基礎科目		経営財務論研究	2	} 4単位選択必修
		流通経済論研究	2	
		経営分析論研究	2	
		経済法研究Ⅰ	2	
		契約法研究	2	
専門科目	統計情報	情報処理研究	2	
		情報システム論研究	2	
		地域データ解析研究	2	
		情報資源管理研究	2	
		応用通信システム研究	2	
		経営情報システム研究	2	
		統計情報研究	2	
		時系列データ解析研究	2	
	経営管理	応用統計研究	2	
		マーケティング論研究	2	
		経営史研究Ⅰ	2	
		現代労使関係研究Ⅰ	2	
		現代労使関係研究Ⅱ	2	
		投資決定研究	2	
		経営管理史研究Ⅰ	2	
		組織論研究Ⅰ	2	
		組織論研究Ⅱ	2	
		経営組織論研究	2	
	会計	企業論研究	2	
		法と経済研究	2	
		企業法研究	2	
		流通システム論研究	2	
		商業経済論研究	2	
		財務会計論研究Ⅰ	2	
		簿記論研究Ⅰ	2	
		管理会計論研究Ⅰ	2	
	企業関係法	管理会計論研究Ⅱ	2	
		国際会計論研究	2	
		企業法研究Ⅰ	2	
		企業法研究Ⅱ	2	
		会社法研究	2	
		労働関係法研究	2	
		福利厚生関係法研究	2	
		産業福祉法研究	2	
		産業経済法研究Ⅱ	2	
		産経環境法研究Ⅰ	2	
科目		産経環境法研究Ⅱ	2	
		環境法研究	2	
		民法Ⅰ	2	
		民法Ⅱ	2	
		民法研究	2	
		刑法研究	2	
		民刑法研究	2	
		経済刑法研究	2	
		演習Ⅰ	4	演習Ⅰ，演習Ⅱ， 総合セミナーは 必修
		演習Ⅱ	4	
		総合セミナー	2	
		フィールドワークⅠ（企業経営）	2	
		フィールドワークⅡ（企業経営）	2	

別表Ⅲ（第2条関係）

共通科目

教育・研究分野	授 業 科 目	単 位 数	備 考
共 通 科 目	情 報 基 礎 実 用 外 国 語	2 2	選択必修

別表Ⅳ（第3条関係）

他研究科共通科目

教育・研究分野	授 業 科 目	単 位 数	備 考
共 通 科 目	地 理 学 特 論 A I	2	
	地 理 学 特 論 B I	2	
	法 律 学 特 論 A I	2	
	法 律 学 特 論 B I	2	
	経 済 学 特 論 I	2	
	国 際 経 済 学 特 論 I	2	

開 講 科 目

開 講 科 目

金 融 ・ 経 済 政 策 専 攻					平成24年度		平成25年度	
科目区分	分野	教 員 名	授 業 科 目 名	単 位	前 期	後 期	前 期	後 期
基礎科目		納富 一郎	公共財政論研究Ⅰ	2			●	
		井上 亜紀	行政基礎法研究Ⅰ	2				○
		中西 一	政策評価研究	2	○			
		都築 治彦	社会選択理論研究	2			○	
		米倉 茂	金融経済論研究	2	●			
専門科目	数量経済分析	上山 和俊	マクロ経済データ分析研究	2			●	
			応用計量経済学研究	2	○			
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		都築 治彦	数理経済分析研究	2	●			
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		谷 晶紅	上級マクロ経済学研究	2		●		
			動学マクロ経済学研究	2				○
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
	金融・政策分析	米倉 茂	国際金融論研究	2			○	
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		(非常勤講師) 飯盛	演習Ⅱ	4				
		品川 優	農業経済論研究	2	●		○	
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		納富 一郎	公共財政論研究Ⅱ	2	○			
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
	比較経済	宮島 敬一	日本社会史研究	2		○		
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		ラタナーヤカ・ ピヤダーサ	発展途上国経済論研究	2				●
			開発経済学研究	2		○		
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		富田 義典	比較労働経済研究Ⅰ	2				●
			比較労働経済研究Ⅱ	2		○		
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				

○印は昼間に開講することを示す。
●印は夜間に開講することを示す。

金 融 ・ 経 済 政 策 専 攻					平成24年度		平成25年度	
科目 区分	分野	教 員 名	授 業 科 目 名	単 位	前 期	後 期	前 期	後 期
専 門 科 目	地 域 ・ 福 祉 政 策	戸 田 順一郎	経済地理学研究	2				○
			地域経済論研究	2		●		
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		森 周子	地域福祉研究	2				●
			福祉政策研究	2		○		
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		井上 亜紀	行政基礎法研究Ⅱ	2				
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		奈須 祐治	地方自治法制研究	2	○		●	
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		畑山 敏夫	地域政治研究	2	●		○	
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		中西 一	地方財政研究	2			●	
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		全教員	フィールドワーク	2	○●	○●	○●	○●
		全教員	総合セミナー	2	○●		○●	

○印は昼間に開講することを示す。

●印は夜間に開講することを示す。

企 業 経 営 専 攻					平成24年度		平成25年度	
科目 区分	分野	教 員 名	授 業 科 目 名	単 位	前 期	後 期	前 期	後 期
基礎 科目		大坪 稔	経営財務論研究	2		○		●
		宮崎 卓朗	流通経済論研究	2	●			
		山下 寿文	経営分析論研究	2				●
		岩本 諭	経済法研究Ⅰ	2				●
		中山 泰道	契約法研究	2	●		○	
専 門 科 目	統 計 情 報	常盤 洋一	地域データ解析研究	2		○		●
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		安田 伸一	応用通信システム研究	2	●		○	
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		羽石 寛志	経営情報システム研究	2				●
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		田川正二郎	統計情報研究	2	○			
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		中村 博和	時系列データ解析研究	2				○
			応用統計研究	2		●		
			演習Ⅰ	4				
		大坪 稔	演習Ⅱ	4				
				4				
		平地 一郎	現代労使関係研究Ⅰ	2				○
			現代労使関係研究Ⅱ	2		●		
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		山本 長次	経営史研究	2				●
			経営管理史研究	2		○		
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		松尾 陽好	組織論研究Ⅰ	2			○	
			組織論研究Ⅱ	2	●			
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		三好 祐輔	企業論研究	2			●	
			法と経済研究	2	○			
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		(非常勤講師・岩永)	流通システム論研究	2	○			
		宮崎 卓朗	商業経済論研究	2			○	
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				

○印は昼間に開講することを示す。
●印は夜間に開講することを示す。

企 業 経 営 専 攻					平成24年度		平成25年度	
科目 区分	分野	教 員 名	授 業 科 目 名	単 位	前 期	後 期	前 期	後 期
専 門 科 目	会 計	山形 武裕	財務会計論研究	2		●		○
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		木戸田 力	簿記論研究	2	●		○	
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		小川 哲彦	管理会計論研究Ⅰ	2				○
			管理会計論研究Ⅱ	2		●		
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		山下 寿文	国際会計論研究	2		○		
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
	企 業 関 係 法	小西 みも恵	企業法研究Ⅰ	2				●
			企業法研究Ⅱ	2		○		
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		丸谷 浩介	福利厚生関係法研究	2			●	
			企業福祉法研究	2	○			
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		岩本 諭	経済法研究Ⅱ	2				
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		桒澤 秀木	環境法研究Ⅰ	2			○	
			環境法研究Ⅱ	2	●			
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		栗林 佳代	民法研究Ⅰ	2	●			
			民法研究Ⅱ	2			○	
			演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		中山 泰道	演習Ⅰ	4				
			演習Ⅱ	4				
		全教員	フィールドワーク	2	○●	○●	○●	○●
		全教員	総合セミナー	2	○●		○●	

○印は昼間に開講することを示す。
●印は夜間に開講することを示す。

共 通 科 目					平成24年度		平成25年度	
科目 区分	分野	教 員 名	授 業 科 目 名	単 位	前 期	後 期	前 期	後 期
共通 科目		田川正二郎	情報基礎	2				
		安田 伸一						
		羽石 寛志			●			
		マッカーサー ジョン ダグラス	実用外国語	2	○ ●		○ ●	

○印は昼間に開講することを示す。
●印は夜間に開講することを示す。

演習Ⅰ・Ⅱの履修について

1. いずれかの時間帯に原則として、1コマ開講する。（通年制）
2. 初年度に履修した演習を「演習Ⅰ」、2年度目に履修した演習を「演習Ⅱ」として扱う。
3. 演習は2年間にわたって履修するが、演習担当者は2年にわたって同一でも良いし、別々の担当者を選んでも良い。

講義概要

開講年度	2012	開講時期	前学期												
科目コード	30785100														
科目名	政策評価研究														
担当教員（所属）	中西 一（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	水曜 3 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	政策分析（政策形成）及び政策評価についての実践的で基礎的な訓練を行う。このことは経済学や社会科学の基礎を固める性格をもっているため、研究に従事する学生の支援としても適切なテーマである。授業は講義形式で行い、学生に輪読後の報告などは課さないが授業中に作成する課題発表がある。場合によっては課題を作ってきてもらって発表してもらうこともあるかもしれない。これが受講者が日本語能力を一定満たす場合であるが、そうでない場合は政策評価に関する日本語ないし日本語訳のテキストを利用して学生の日本語読解のサポートを行う。														
開講意図	上記の通り。														
到達目標	大学院での研究生生活が円滑に行いうるよう、サポートを意図している。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	現在のところ未定だが学部講義を参考としてアレンジして作成する。														
成績評価の方法と基準	平素の態度。														
開示する試験問題等	試験は行わない。														
開示方法	不要。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">教科書は利用しない方針。</td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	教科書は利用しない方針。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
教科書は利用しない方針。															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6"></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td></tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	火曜昼休み。														
その他															

開講年度	2012	開講時期	前学期												
科目コード	30570000														
科目名	金融経済論研究														
担当教員（所属）	米倉 茂（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	月曜 6 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式	少人数なので演習形式にする。 テキスト、プリントの双方を参照しながらの形式														
講義概要	金融経済の基本的動きを再確認してもらい、その具体的事例として昨今の国際金融危機、欧州ソブリン危機、本邦財政破たんの可能性を取り上げ、国内金融と国際金融、また金融危機と財政危機が密接に絡み相互作用している状況を考察する。														
開講意図	資本主義には血液としてあるマネーの動きが高まる時のブーム、凍結するときの金融危機が起こる理由を再確認してもらい、金融経済のダイナミックな運動を賞味してもらう。														
到達目標	金融機構の機構の基本的仕組みを把握してもらい、資本主義社会における景気循環運動の創造性、破壊性をあわせて賞味してもらう。														
聴講指定	特になし														
履修上の注意	日頃、金融事象に関する報道に関心を抱き、その内容に関し、講義でも積極的に問い合わせるようにしてください。														
授業計画	1. 金融機構の資本主義社会における意義、功罪に関する全般的説明 2. サブプライムローン問題、リーマン・ショック、欧州ソブリン危機の同根性格 3. サブプライムローン問題の発生 4. サブプライムローン問題の展開 5. サブプライムローン問題の帰結 6. リーマン・ショックの原因 7. リーマン・ショックの波及 8. リーマン・ショックが米国にとどまらず全世界の問題になった要因 9. 金融レバレッジの効用 10. 信用リスク・テークの功罪 11. 信用リスクと証券化業務 12. オフバランスとオンバランスの分離・連結作用 13. 欧州ソブリン問題の発生の理由 14. 欧州ソブリン問題と日本の財政事情との関連 15. まとめ														
成績評価の方法と基準	報告の内容、報告書の作成の出来具合で評価														
開示する試験問題等	演習形式なので試験の代わりに、演習における報告、報告書の内容の提出が求められる。														
開示方法	報告書に関しコメント、意見を付す														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サブプライムローンの真実:21世紀型金融危機の「罪と罰」</td><td></td><td>米倉茂</td><td>創成社</td><td>2008</td><td></td></tr> </tbody> </table>	資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	サブプライムローンの真実:21世紀型金融危機の「罪と罰」		米倉茂	創成社	2008			
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
サブプライムローンの真実:21世紀型金融危機の「罪と罰」		米倉茂	創成社	2008											
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新型ドル恐慌・リーマン・ショックから学べべき教訓</td><td></td><td>米倉茂</td><td>彩流社</td><td>2009年</td><td></td></tr> </tbody> </table>	資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	新型ドル恐慌・リーマン・ショックから学べべき教訓		米倉茂	彩流社	2009年			
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
新型ドル恐慌・リーマン・ショックから学べべき教訓		米倉茂	彩流社	2009年											
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名称	URL												
名称	URL														
オフィスアワー	月曜日16時～17時30分														
その他															

開講年度	2012	開講時期	前学期												
科目コード	30551500														
科目名	応用計量経済学研究														
担当教員（所属）	上山 和俊（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	金曜 4 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式	ゼミ形式														
講義概要	経済現象を数理的および定量的に計量経済学的手法を用いて分析することによって、現実の経済現象についての理解が深まり、現代経済のさまざまな分野において政策的課題や実践的な問題の解決にも応用することができる。 本講義では、現実の経済統計データを用いた実証分析の手法やその分析結果について考察する。														
開講意図	経済現象の諸問題について計量経済学的手法によって解決する方法論について考察する。														
到達目標	経済データを用いた実証分析に関する評価・分析能力の修得。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	経済データを用いた実証分析に関する文献の輪読と報告。各回の課題：授業内容の整理と復習。														
成績評価の方法と基準	報告および授業参加状況等を重視する。														
開示する試験問題等	経済学部「成績評価問い合わせ用オフィスアワー」時に希望者に開示する。														
開示方法	成績評価については、該当学年の経済学部「成績評価問い合わせ用オフィスアワー」時に希望者（履修登録した本人）のみ受け付ける。このオフィスアワーについては追って指示する。														
教科書	<table><tr><th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊：上下, ISBN等)</th></tr><tr><td>受講生のレベルにあわせて決定する予定である。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)	受講生のレベルにあわせて決定する予定である。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)										
受講生のレベルにあわせて決定する予定である。															
参考図書	<table><tr><th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊：上下, ISBN等)</th></tr><tr><td>参考図書・文献については、適宜紹介する。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)	参考図書・文献については、適宜紹介する。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)										
参考図書・文献については、適宜紹介する。															
リンク	<table><tr><th>名称</th><th>URL</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	質問等については授業終了時やメールなどで原則随時。オフィスアワーについては追って指示する。														
その他															

開講年度	2012	開講時期	前学期														
科目コード	30561700																
科目名	数理経済分析研究																
担当教員(所属)	都築 治彦(経済学部)																
単位数	2																
曜日・校時	火曜 6 時限																
曜日・校時 追記																	
講義形式																	
講義概要	ミクロ経済学とは、経済主体である個々の消費者や企業(生産者)を分析対象とし、消費者や企業の行う合理的な経済行動や、取引の場である市場、そして、取引の結果として生じる資源配分について研究する学問である。最も基本的な市場である完全競争市場では、市場メカニズムがうまく機能して、望ましい市場均衡が達成されることになる。一方で、現実の経済は非常に複雑であり、完全競争の前提をおくことが不適当な不完全競争状態も多数存在する。ここでは、完全競争市場の理論をふまえて、このような不完全競争市場について、ゲーム理論の手法を用いるなどして分析を行う。																
開講意図	現代経済社会を理解するために必要不可欠な理論であるゲーム理論の基礎的な理論について学ぶ。																
到達目標	ゲーム理論の基礎である、戦略形、展開形、ゲームの解概念であるナッシュ均衡や部分ゲーム完全均衡、そしてビジネスの問題など現代経済社会への応用などについて理解する。																
聴講指定																	
履修上の注意																	
授業計画	1 ゲーム理論とは 2 戦略形ゲーム 3 支配戦略均衡とナッシュ均衡 4 混合戦略とナッシュ均衡 5 展開形ゲーム 6 ゲームツリーと情報集合 7 混合戦略と行動戦略 8 後ろ向き帰納法 9 部分ゲーム完全均衡 10 繰り返しゲーム 11 不完全競争市場について 12 複占市場のゲーム理論的分析 13 情報の不確実性 14 逆選択とモラルハザード 15 プリンシパル・エージェント問題とインセンティブ・コンパティビリティ																
成績評価の方法と基準	平素の成績により行う																
開示する試験問題等	平素の成績により判定する。																
開示方法	平素の成績により判定する。																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適宜指示する</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	適宜指示する					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
適宜指示する																	
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					名称	URL										
名称	URL																
オフィスアワー	講義開始前後																
その他																	

開講年度	2012	開講時期	前学期														
科目コード	30626500																
科目名	農業経済論研究																
担当教員（所属）	品川 優（経済学部）																
単位数	2																
曜日・校時	月曜 7 時限																
曜日・校時 追記																	
講義形式																	
講義概要	世界ではWTO体制による自由貿易や2国間によるFTA交渉、国内では経済財政諮問会議主導による農業改革、と日本農業をとりまく情勢はめまぐるしく変化している。このような状況の中で、現在我が国が抱える食料問題、農業問題、農村問題について、その問題の背景、課題、それらへの政策を研究することを目的とする。																
開講意図	世界・日本の食料・農業・農村を取り巻く環境について適切に把握できる能力を身につけること。																
到達目標	世界・日本の食料・農業・農村を取り巻く環境について適切に把握できる能力を身につけること。（1）と（2）																
聴講指定																	
履修上の注意																	
授業計画	上記の問題に関するテキストを、各受講者に担当箇所を割り当て報告してもらい、それにもとづき議論を行う。 ※講義内で指摘した課題・問題点を次までに整理・解消すること。																
成績評価の方法と基準	出席状況及び報告・討論の内容により総合的に評価する。 評価の閲覧を希望する学生はオ、フィスアワー時に研究室に来ること。																
開示する試験問題等	講義内で指示する。																
開示方法	講義内で指示する。																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下,ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講義内で指示する</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下,ISBN等)	講義内で指示する					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下,ISBN等)												
講義内で指示する																	
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下,ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下,ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下,ISBN等)												
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				名称	URL											
名称	URL																
オフィスアワー	火曜 4 限																
その他																	

開講年度	2012	開講時期	前学期												
科目コード	30637200														
科目名	公共財政論研究Ⅱ														
担当教員（所属）	納富 一郎（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	水曜 2 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式	テキスト資料を配付し、最初は解説、次に学生諸君が発表して、ディスカッションする。														
講義概要	「社会保障と税の一体改革」が叫ばれている。社会保障支出が膨らんでいきそうな一方で、その財源を国債に依存し続けることができないという判断から、増税を行って、財政と社会保障の持続可能性を図ることを狙いとしている。高齢社会のなかで、格差社会のなかで社会保障制度を維持・整備するにはどうするか、その財政的仕組みをどうするかを考える。														
開講意図	政府の報告書、エコノミストたちの賛・否両論などいろんな見方があること、いろんな視点があることを学び、それらを整理する。 たとえば、世代という観点から見ると、グローバルな競争という観点から捉える人、「公平」「社会的連帯」という視点でみるものなど。														
到達目標	日本の福祉国家の姿、という大きなテーマについて考える力を身につける。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	配布する資料を必ず読んでから出席すること 整理して発表することを学ぶ 1 イントロダクション 2～3 「社会保障と税の一体改革」の政府案を読む 4～14 社会保障と税の一体改革について 論文、記事などを読み、整理して、発表・報告する。 ディスカッションを行うなかで理解を深める。 論点は、いくつかありそうだ ① 社会保障のニーズ 社会保障制度の綻び、世代間の対立？ ② 財政の持続可能性、福祉国家の財政の姿、 ③ 消費税制度のあり方、グローバル経済のなかの租税制度 ④ 産業界の見方、労働の見方、若者の見方、福祉の政治 ⑤ 国際的な比較														
成績評価の方法と基準	出席・報告・ディスカッションなど平素の学習態度を評価します														
開示する試験問題等	試験は実施しません														
開示方法	試験は実施しません														
教科書	<table><tr><td>資料名</td><td>版</td><td>著者名</td><td>発行所名 発行者名</td><td>出版年</td><td>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</td></tr><tr><td>社会保障と税の一体改革案 のほか いくつかの論文を配布します</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	社会保障と税の一体改革案 のほか いくつかの論文を配布します					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
社会保障と税の一体改革案 のほか いくつかの論文を配布します															
参考図書	<table><tr><td>資料名</td><td>版</td><td>著者名</td><td>発行所名 発行者名</td><td>出版年</td><td>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table><tr><td>名称</td><td>URL</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	金曜日Ⅳ・Ⅴ時間目														
その他															

開講年度	2012	開講時期	前学期													
科目コード	30763000															
科目名	地方自治法制研究															
担当教員（所属）	奈須 祐治（経済学部）															
単位数	2															
曜日・校時	月曜 5 時限															
曜日・校時 追記																
講義形式																
講義概要	地方自治の法と制度を概説する。地方自治法を中心とする法律の枠組みのみならず、将来の制度改革のあり方を含めた政策的な内容にまで踏み込む。															
開講意図	日本は現在非常に流動的な状況にあり、理想的な統治のあり方について方向性を見出すことは困難である。ただ少なくとも地方自治の制度設計が極めて重要な論点となっていることは疑いない。そこで、この講義では、地方自治法その他の諸法律の解釈にとどまらず、自治体の制度設計のあり方についても広く議論することとする。															
到達目標	地方自治法制に関する高度な知識を身につけ、政策形成の基盤となる柔軟な思考と発想を養うこと。少なくとも下記教科書の内容を十分に熟知し、時事ニュースはその内容を理解するだけでなく、それに対して分析を加え、批評できるだけの知識を身につけることを目指す。															
聴講指定																
履修上の注意																
授業計画	講義は原則として、下記教科書の 1 章を 2 回の講義で消化することとする。1 回めの講義では、事前に該当する章を履修者全員に読んできてもらったうえで、本の内容を少し掘り下げた解説を行う。2 回目めの講義では、履修者に、それに関連する内容の調査・プレゼンをおこなってもらう。このサイクルを約 7 回繰り返すこととする。同書をすべてカバーすることはできないため、事前に履修者と相談し、どの章を取り上げるかを決定する。															
成績評価の方法と基準	出席点、講義中の議論への参加、プレゼンの内容、最終レポートで評価する。															
開示する試験問題等	すべて開示する。															
開示方法	希望者に個別に開示する。															
教科書	<table><tr><th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr><tr><td>現代地方自治</td><td></td><td>佐々木信夫</td><td>学陽書房</td><td>2009</td><td>978-4313161405</td></tr></table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	現代地方自治		佐々木信夫	学陽書房	2009	978-4313161405
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)											
現代地方自治		佐々木信夫	学陽書房	2009	978-4313161405											
参考図書	<table><tr><th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr><tr><td>随時指示</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	随時指示					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)											
随時指示																
リンク	<table><tr><th>名称</th><th>URL</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>				名称	URL										
名称	URL															
オフィスアワー	毎回の講義終了後、またはメール(nasuy@cc.saga-u.ac.jp)で質問可。															
その他																

開講年度	2012	開講時期	前学期														
科目コード	30774000																
科目名	地域政治研究																
担当教員（所属）	畑山 敏夫（経済学部）																
単位数	2																
曜日・校時	木曜 6 時限																
曜日・校時 追記																	
講義形式																	
講義概要	先進社会と一言でいっても多様な社会経済的個性が見られる。本授業では、「ヨーロッパ社会モデル」と呼ばれるような特徴ある経済社会のあり方を築いてきたヨーロッパを対象にして授業を進める。ヨーロッパは現在、ユーロ危機に苦しんでいるが、フランスを題材にしてEU統合の危機のなかでの国民国家について考えてみたい。フランス革命から「共和国的統合モデル」として国民を国民共同体に統合してきた国であるフランスを中心にとりあげ、そのような統合の手段として平等や連帯の価値に依拠して、フランス版福祉国家を築いてきたことを学び、危機のEUとグローバル化しつつある世界のなかで、「フランス的社会モデル」が直面している困難と、そのモデルがもっている有効性を考えてみたい。また、今年はフランスでは大統領選挙と下院選挙が4-6月にあり、その結果も折込ながら授業を進めたい。																
開講意図	深く検討することなく「小さな政府」がいいといった風潮が支配する現在だからこそ、福祉国家の役割と意義について考えてみたい。																
到達目標	アメリカ・モデルの社会だけではなく、先進社会も多様な個性をもっていること、21世紀の現在、どのような経済社会モデルが国民にとって有益化を考える基礎的な知識と情報を得ることが、本授業の到達目標である。																
聴講指定																	
履修上の注意																	
授業計画	本授業のテキストは適当な教材のコピーを配布し、授業の進行については最初の講義で説明する。																
成績評価の方法と基準	出席を中心に評価する。																
開示する試験問題等	試験は実施しない。																
開示方法	試験は実施しない。																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テキストは使わずに、授業中にプリントを配布する。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	テキストは使わずに、授業中にプリントを配布する。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
テキストは使わずに、授業中にプリントを配布する。																	
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					名称	URL										
名称	URL																
オフィスアワー	少人数クラスのため、随時、希望に応じて面談する。																
その他																	

開講年度	2012	開講時期	前学期												
科目コード	30905200														
科目名	流通経済論研究														
担当教員（所属）	宮崎 卓朗（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	火曜 6 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	現代の小売業はさまざまな業態に分かれている。またそれぞれの業態は国により発展の程度や小売業界全体の中での重要性が異なる。そのことを反映して個々の業態でも国により形態に差がみられる。本講義は日本において重要であると考えられている業態をいくつか取り上げ、それぞれの業態の日本の発展の特徴と、それぞれの業態が抱える問題点を解説する。														
開講意図	消費者として生活するためには購買活動は不可避である。その購買活動に潜む消費者問題を理解するためには、現代の流通を理解しなければならない。また現代の流通を理解するためには、個々の小売業態の特徴を理解する必要がある。各小売業態の特徴を理解することで、各小売業態固有の問題点を理解することや、小売企業の戦略的意図を理解することができる。以上の理由で小売業態を対象とした講義を開講する。														
到達目標	消費生活を送る上で必要となる小売業態に関する基礎知識を身につけることが目標である。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	1週：ガイダンス 2週：日本の百貨店の特徴 3週：日本の百貨店が抱える問題点 4週：日本の総合スーパーの発展の特徴 5週：日本のGMSの抱える問題 6週：日本の食品スーパーの特徴 7週：日本の食品スーパーの問題点 8週：日本型コンビニエンス・ストアの成立 9週：日本型コンビニエンス・ストアの事業システム 10週：日本型コンビニエンス・ストアの問題点 11週：カテゴリー・キラーの成長（家電量販店） 12週：カテゴリー・キラーの成長（アパレル） 13週：カテゴリー・キラーの成長（ドラッグストア） 14週：日本の小売業態の変遷 15週：講義のまとめ														
成績評価の方法と基準	平素の成績（定期試験は行わない）とレポートで採点する。														
開示する試験問題等	試験を行わない。														
開示方法	試験を行わない。														
教科書	<table><tr><th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr><tr><td>前回の講義の際に次回のテキストとなる論文を配布する</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	前回の講義の際に次回のテキストとなる論文を配布する					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
前回の講義の際に次回のテキストとなる論文を配布する															
参考図書	<table><tr><th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table><tr><th>名称</th><th>URL</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	火曜日 5 校目														
その他															

開講年度	2012	開講時期	前学期																				
科目コード	31023000																						
科目名	契約法研究																						
担当教員（所属）	中山 泰道（経済学部）																						
単位数	2																						
曜日・校時	木曜 7 時限																						
曜日・校時 追記																							
講義形式	とりあげる課題について担当者を定め、報告してもらい、これを基に参加者で議論をし、理解を深める。																						
講義概要	現代社会で用いられている、種々の契約について、その問題点を学説、裁判の検討を通して明らかにする。																						
開講意図	現代社会で用いられている、種々の契約について、その問題点を裁判例を通じて明らかにする。並行して契約法の基礎的理解を深める。																						
到達目標	契約法の基礎的理解と現実に用いられている契約についての基礎的理解を得ること。																						
聴講指定																							
履修上の注意	六法は必ず持参すること。																						
授業計画	取り上げる契約については、消費者売買に関するもの、与信契約に関するものを予定している。これについては受講者の希望を聞いたうえで、決定する。 1週：とりあげるべき課題の提示と担当の割り振り。 2週：契約法の概説 3週：裁判例の検討 4週：裁判例の検討 5週：裁判例の検討 6週：裁判例の検討 7週：裁判例の検討 8週：裁判例の検討 9週：裁判例の検討 10週：裁判例の検討 11週：裁判例の検討 12週：裁判例の検討 13週：裁判例の検討 14週：裁判例の検討 15週：まとめ																						
成績評価の方法と基準	平常の報告、議論への参加度、出席を総合評価して決定する。																						
開示する試験問題等	特になし。																						
開示方法	特になし。																						
教科書	<table><tr><th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr><tr><td>消費者法判例百選</td><td></td><td>廣瀬久和 河上 正二編</td><td>有斐閣</td><td></td><td></td></tr></table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	消費者法判例百選		廣瀬久和 河上 正二編	有斐閣								
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)																		
消費者法判例百選		廣瀬久和 河上 正二編	有斐閣																				
参考図書	<table><tr><th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr><tr><td>商取引法</td><td></td><td>江頭憲治郎</td><td>有斐閣</td><td></td><td></td></tr><tr><td>消費者法</td><td></td><td>大村敦志</td><td>有斐閣</td><td></td><td></td></tr></table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	商取引法		江頭憲治郎	有斐閣			消費者法		大村敦志	有斐閣		
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)																		
商取引法		江頭憲治郎	有斐閣																				
消費者法		大村敦志	有斐閣																				
リンク	<table><tr><th>名称</th><th>URL</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>					名称	URL																
名称	URL																						
オフィスアワー	月曜 2																						
その他																							

開講年度	2012	開講時期	前学期												
科目コード	30801600														
科目名	応用通信システム研究														
担当教員（所属）	安田 伸一（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	木曜 6 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	本講義では、情報化という変化の社会に与える影響を分析し、現代社会の多様な問題を解決する手段としての情報化の役割を考察する。														
開講意図	本講義は、多様化した通信手段を分析することによって、情報社会における人と人とのコミュニケーションに関する知見を得るために開講する。														
到達目標	手紙やメール、電話といった特定の相手に目的を持って連絡する通信に限らず、ブログや SNS、ツイッター、動画投稿サイトを含む多様なコミュニケーション手段、さらに面会や訪問といった道具を介さないコミュニケーションまで、それぞれの方法の特徴を分析でき、コミュニケーションの特徴を明確に把握することを目指す。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	伝統的な通信手段の分析 1. 電話と手紙やメール 2. 対話型と蓄積型の考察 3. 対話型や蓄積型で分類できるコミュニケーション 4. 直接会うことを考える（1） 電話やメール以外のコミュニケーションの分析 5. ブログの考察 6. SNSの考察 7. ツイッターの考察 8. 直接会うことを考える（2） 9. 動画投稿サイトの考察 10. 著作権 連絡相手の特徴の分析 11. 知らせたい相手がいる 12. 家族や仕事仲間に状況を伝える 13. 「好縁社会」（堺屋太一） 14. 顔の見える範囲の地域コミュニティ 15. 顔の见えない広域コミュニティ まとめ 16. 現代のコミュニケーションの考察														
成績評価の方法と基準	各講義での発言によって成績を評価する。 各回のテーマに関して、自分の意見を毎回表明することで合格とする。														
開示する試験問題等	出席者の各回の発言の妥当性は、成績問い合わせのオフィスアワーで開示する。														
開示方法	出席者の各回の発言の妥当性は、成績問い合わせのオフィスアワーで開示する。														
教科書	<table><tr><td>資料名</td><td>版</td><td>著者名</td><td>発行所名 発行者名</td><td>出版年</td><td>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</td></tr><tr><td>(必要な資料は、その都度、配布します)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	(必要な資料は、その都度、配布します)					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
(必要な資料は、その都度、配布します)															
参考図書	<table><tr><td>資料名</td><td>版</td><td>著者名</td><td>発行所名 発行者名</td><td>出版年</td><td>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table><tr><td>名称</td><td>URL</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	火曜日 4 校時														
その他															

開講年度	2012	開講時期	前学期												
科目コード	30812100														
科目名	統計情報研究														
担当教員（所属）	田川 正二郎（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	火曜 4 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式	パソコンによる実習形式														
講義概要	現代の経済は家計と企業という経済主体が相互の取引によって展開される活動が核となっていると考えられる。その取引は主に市場を介して行われるわけであるが、国防や警察など、市場になじまないものに対しては政府（もう1つの経済主体）が担当することになる。このような経済主体の活動を掌握するためには、それらに対応する各種の統計（経済統計）が必要になってくる。ところが、経済統計を理解するためには、経済学の知識以外に統計学の知識も必要であり、さらに分析に必要な統計手法の基礎概念と、パソコンで実行するための情報処理の知識も必要である。この授業科目では、各種の経済統計に対して、主な統計的手法をパソコンで実行して、基本的な計量分析ができるようになることを目標とする。														
開講意図	基本的な経済統計の理解と、基本的な統計手法に対し理解を深めることを意図している。														
到達目標	企業に関する統計と家計に関する統計、さらに国民経済計算の統計を実際にインターネットを用いて取得し、簡単な計量分析ができるようになることが目標である。【経済学研究科の教育課程編成・実施方針の中の企業経営専攻の教育目標の（3）】														
聴講指定															
履修上の注意	パソコンで作成したデータを保存するためのUSBメモリを用意すること。														
授業計画	代表的な経済統計をいくつか取り上げ、パソコンを用いてデータ処理を行いながら、経済分析または経営分析を進める予定である。まず、企業に関する統計として「法人企業統計」を取り上げ、主な経営指標を計算して簡単な経営分析を行うが、その際、パソコンの表計算ソフトMicrosoft Excelを用いる。次に、家計に関する統計として「家計調査年報」を取り上げ、消費支出のレーダーチャートを作成したり、食料費の統計的性質を調べたりする。また、マクロ経済として「国民経済計算」を取り上げ、経済成長と経済循環を把握するためのグラフを作成したり、回帰分析を用いて消費関数を推定したりする。さらに、Microsoft Excelの分析ツールの1つであるソルバーを用いて、企業の売上高最大化行動を分析する予定である。 毎回の課題に対しレポートを提出すること。 毎回出てくる統計データに対し、次回までに経済学的に理解しておくこと。														
成績評価の方法と基準	出席と毎授業時間中のレポートにより評価する。														
開示する試験問題等	1. レポートの出題意図 2. レポートの解答例														
開示方法	毎回のレポート課題に対し、出題意図と解答例をその時間中に開示する。														
教科書	<table><tr><td>資料名</td><td>版</td><td>著者名</td><td>発行所名 発行者名</td><td>出版年</td><td>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</td></tr><tr><td>プリントを用意する。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	プリントを用意する。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
プリントを用意する。															
参考図書	<table><tr><td>資料名</td><td>版</td><td>著者名</td><td>発行所名 発行者名</td><td>出版年</td><td>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table><tr><td>名称</td><td>URL</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	火曜日 5 校時														
その他															

開講年度	2012	開講時期	前学期												
科目コード	30872900														
科目名	組織論研究Ⅱ														
担当教員（所属）	松尾 陽好（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	金曜 6 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	組織の成立，維持，存続，成長，発展のプロセスにかかわる問題について研究する。														
開講意図	組織行動論の観点から，組織の成立，維持，存続，発展のプロセスについて理解を深める。														
到達目標															
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	1週：イントロダクション 次回までの課題：講義内容を整理しておくこと 2週：個人の行動の基礎 次回までの課題：講義内容を整理しておくこと 3週：パーソナリティと感情 次回までの課題：講義内容を整理しておくこと 4週：動機づけの基本的なコンセプト 次回までの課題：講義内容を整理しておくこと 5週：動機づけ：コンセプトから応用へ 次回までの課題：講義内容を整理しておくこと 6週：個人の意思決定 次回までの課題：講義内容を整理しておくこと 7週：集団行動の基礎 次回までの課題：講義内容を整理しておくこと 8週：チームを理解する 次回までの課題：講義内容を整理しておくこと 9週：コミュニケーション 次回までの課題：講義内容を整理しておくこと 10週：リーダーシップと信頼の構築 次回までの課題：講義内容を整理しておくこと 11週：力（パワー）と政治 次回までの課題：講義内容を整理しておくこと 12週：コンフリクトと交渉 次回までの課題：講義内容を整理しておくこと 13週：組織構造の基礎 次回までの課題：講義内容を整理しておくこと 14週：組織文化 次回までの課題：講義内容を整理しておくこと 15週：人材管理の考え方と方法 次回までの課題：講義内容を整理しておくこと														
成績評価の方法と基準	出席回数，報告内容に基づく平常点（7割）と最終レポート（3割）を勘案して評価する。														
開示する試験問題等	評価の基準と評価結果についての根拠。														
開示方法	本人からの申し出により直接開示する														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊：上下，ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新版 組織行動のマネジメント</td><td></td><td>ステファン・ロ ビンズ</td><td>ダイヤモンド 社</td><td>2009年</td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下，ISBN等)	新版 組織行動のマネジメント		ステファン・ロ ビンズ	ダイヤモンド 社	2009年	
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下，ISBN等)										
新版 組織行動のマネジメント		ステファン・ロ ビンズ	ダイヤモンド 社	2009年											
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊：上下，ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下，ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下，ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	月曜日Ⅲ校時														
その他															

開講年度	2012	開講時期	前学期																														
科目コード	30883600																																
科目名	法と経済研究																																
担当教員（所属）	三好 祐輔（経済学部）																																
単位数	2																																
曜日・校時	火曜 5 時限																																
曜日・校時 追記																																	
講義形式																																	
講義概要	受講者に身近な最近の社会問題を題材にあげ、法学と経済学のどちらの立場に属するかにより、考え方の衝突が起こっているかを確認する。さらに、社会紛争に関する近時の実態調査に基づいた実証分析の結果を理解することを目標とする。																																
開講意図	家計や企業の誘因を、社会全体にとっても好ましい方向に誘導できるような法制度のあり方を考察																																
到達目標	配布する予定の資料の内容を理解すること																																
聴講指定																																	
履修上の注意																																	
授業計画	1 NOVAの受講算定システムの問題について 2 喫煙の自己決定権の問題について 3 弁護士人口の問題について 4 貸金市場分析について 5 企業の不祥事問題について 6 内部者取引規制について 7 証券会社の損失補てん問題について																																
成績評価の方法と基準	出席と発表で評価する																																
開示する試験問題等	試験はしません。																																
開示方法	講義の最後の時間に受講者に伝える。																																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配布予定の資料</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>なし</td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	配布予定の資料					なし																		
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)																												
配布予定の資料					なし																												
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>組織の経済学</td><td></td><td>奥野他</td><td>NTT出版</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>法と経済学</td><td></td><td>ロバート・D・クーター</td><td>商事法務研究会</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>中国証券市場大全</td><td></td><td>野村資本市場研究所</td><td>日本経済新聞出版</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>日本の証券犯罪</td><td></td><td>神山敏雄</td><td>日本評論社</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	組織の経済学		奥野他	NTT出版			法と経済学		ロバート・D・クーター	商事法務研究会			中国証券市場大全		野村資本市場研究所	日本経済新聞出版			日本の証券犯罪		神山敏雄	日本評論社		
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)																												
組織の経済学		奥野他	NTT出版																														
法と経済学		ロバート・D・クーター	商事法務研究会																														
中国証券市場大全		野村資本市場研究所	日本経済新聞出版																														
日本の証券犯罪		神山敏雄	日本評論社																														
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			名称	URL																												
名称	URL																																
オフィスアワー	授業の終了後に行う。																																
その他																																	

開講年度	2012	開講時期	前学期												
科目コード	30894100														
科目名	流通システム論研究														
担当教員（所属）	岩永 忠康（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	水曜 5 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式	講義と演習の組み合わせ。														
講義概要	特定のテキストを用いてマーケティング・流通・商業に関する基礎知識・理論を学ぶ。														
開講意図	マーケティング・流通・商業に関する基礎知識・理論を理解し習得させる。														
到達目標	マーケティング・流通・商業に関する文献を整理し、文献の意図や問題点を把握される。それによって、修士論文の準備も兼ねる。														
聴講指定															
履修上の注意	出席を重視する。														
授業計画	マーケティング・流通・商業に関する特定のテキスト（学生と相談したテキスト）を用いて基礎知識・理論を演習形式で講義する。 1、テキスト選定、講義の進め方等、 2、テキストの内容の概要 3、テキストの第1章 4、テキストの第2章 5、テキストの第3章 6、テキストの第3章 7、テキストの第4章 8、テキストの第5章 9、テキストの第1-5章の予備 10、ビデオ観賞 11、テキストの第6章 12、テキストの第7章 13、テキストの第8章 14、テキストの第9章 15、テキストの総括														
成績評価の方法と基準	レポート、出席状況、授業態度を加味しながら総合的に評価する。														
開示する試験問題等	評価等の開示は岩永の研究室で行う。														
開示方法	評価等の開示は岩永の研究室で行う。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生と相談の上、決定する。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	学生と相談の上、決定する。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
学生と相談の上、決定する。															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	講義の前後、講義室で行う。														
その他															

開講年度	2012	開講時期	前学期												
科目コード	30920500														
科目名	簿記論研究														
担当教員（所属）	木戸田 力（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	火曜 7 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	企業会計の測定構造の研究は、従来意味論的および構文論的分野で積み重ねられてきた。このうち、意味論的分野の考察は、杉本典之氏の業績に基礎をおきつつ、会計環境が激動する状況における会計測定論の確立を学んでいきたい。当面、シュマーレンバッハやペイトンなどの会計理論を材料としてとりあげながら、講義をすすめていきたい。														
開講意図	修士論文を完成させる基礎的な学力を養う。														
到達目標	修士論文を完成させる。														
聴講指定	1年生以上														
履修上の注意	大学時代に企業会計を学んだ者のみ履修すること。														
授業計画	ゼミナール形式をとる。														
成績評価の方法と基準	平常点（講義の出席および小テスト）により成績を評価したい。														
開示する試験問題等	開示しない。														
開示方法	開示しない。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生と相談の上決める。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	学生と相談の上決める。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
学生と相談の上決める。															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	木 6														
その他															

開講年度	2012	開講時期	前学期														
科目コード	30981600																
科目名	企業福祉法研究																
担当教員（所属）	丸谷 浩介（経済学部）																
単位数	2																
曜日・校時	木曜 5 時限																
曜日・校時 追記																	
講義形式																	
講義概要	日本企業で働くことについて考えます。就職活動から採用、昇進、配置転換、退職に至る問題について、日本企業の現実をふまえて検討を加えます。 また、労働者は働いて賃金を受け取り、それを糧に生活します。職業生活が中断（失業、出産育児、疾病など）したり、引退（定年など）したら、どうやって生活をすればよいのか、日本法でどのようなになっているのかを検討します。																
開講意図	受講生の希望や属性（母国・今までの学習状況）に応じて内容を変更させることがあります。 法律学を学んでいることは、必須条件ではありません。必要な範囲で指導します。																
到達目標	日本的な働き方について理解すること 企業の福利厚生について理解すること																
聴講指定																	
履修上の注意																	
授業計画	受講生との協議により、内容は変更されることがあります。 ○会社は、採用内定を取り消してもいいのか？ ○社員は、会社の転勤命令にどこまで従わなければならないのか？ ○男性社員が女装して出勤してきたら、解雇されるのか？ ○会社は、美人だけ採用してもよいのか？ ○会社は、どんな社員を辞めさせることができるのか？ ○正社員とパート、男性社員と女性社員で給料がちがってもいいのか？ ○失業したらどうやって生きていけばいいのか？ ○給料明細の読み方 など。																
成績評価の方法と基準	平常の受講態度																
開示する試験問題等	（必要ある場合）課題等を直接開示																
開示方法	個別対応																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">受講生との協議により決定</td></tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	受講生との協議により決定					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
受講生との協議により決定																	
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					名称	URL										
名称	URL																
オフィスアワー	月 5																
その他																	

開講年度	2012	開講時期	前学期															
科目コード	31002700																	
科目名	環境法研究Ⅱ																	
担当教員（所属）	桎澤 秀木（経済学部）																	
単位数	2																	
曜日・校時	火曜 6 時限																	
曜日・校時 追記																		
講義形式																		
講義概要	環境法は、現代社会を考察する際に欠かせない知識となっている。 本授業は、環境法の概略を知ることが目的とするが、学生の興味に従ってテーマを絞ることは可能である。																	
開講意図	環境法の概要を理解し、その特徴を認識する。																	
到達目標	環境法の概要を理解する。																	
聴講指定																		
履修上の注意																		
授業計画	学生の希望を聞いた後、詳細な授業計画を立てる。																	
成績評価の方法と基準	普段の授業態度と学期末に行う小テストで評価する。																	
開示する試験問題等	授業の中で説明する。																	
開示方法	授業の中で説明する。																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">特に指定しない。</td></tr> </tbody> </table>						資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	特に指定しない。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)													
特に指定しない。																		
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6"></td></tr> </tbody> </table>						資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)													
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td></tr> </tbody> </table>						名称	URL										
名称	URL																	
オフィスアワー	水 2 限目																	
その他																		

開講年度	2012	開講時期	前学期														
科目コード	31012710																
科目名	民法研究 I																
担当教員（所属）	栗林 佳代（経済学部）																
単位数	2																
曜日・校時	水曜 6 時限																
曜日・校時 追記																	
講義形式																	
講義概要	本講義では、民法に関する基礎的研究を行う。そのために下記に指定する専門書を講読する。いわゆる「生活民法」という領域について、契約および家族という観点から検討を行い、民法および民法関連法に関する基礎的知識を定着させ、深める。																
開講意図	民法および民法関連法に関する基礎的知識を身につけるだけでなく、それを深め、実践的に用いることができるようになることを意図している。																
到達目標	民法および民法関連法に関する基礎的知識の定着および応用能力を身につけることを目標とする。																
聴講指定																	
履修上の注意																	
授業計画	受講者にテキストの内容および内容の検討について報告してもらい、それをもとに受講者全員で議論をするかたちで講義を進める。																
成績評価の方法と基準	報告内容および討論での発言内容・積極性、出席状況等の平常点による総合評価																
開示する試験問題等	報告内容および討論での発言内容・積極性、出席状況等の平常点																
開示方法	開示を希望する者は、別途指定する試験用のオフィスアワーの時間帯に担当教員の研究室に来て下さい。																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費者・家族と法</td><td></td><td>大村敦志</td><td>東京大学出版</td><td>1999</td><td></td></tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	消費者・家族と法		大村敦志	東京大学出版	1999	
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
消費者・家族と法		大村敦志	東京大学出版	1999													
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				名称	URL											
名称	URL																
オフィスアワー	随時（要事前連絡）																
その他	受講に際しては、六法を持参すること。																

開講年度	2012	開講時期	前学期												
科目コード	31050000														
科目名	情報基礎														
担当教員（所属）	羽石 寛志（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	月曜6時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	情報・メディアリテラシーの教育と研究														
開講意図	PCを利用して修士課程での研究を行う上での情報・メディアリテラシーの習得。 修士論文作成のための技術の習得。														
到達目標	修士課程での研究に用いられるPCの活用技法の習得を目標														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	受講者の人数レベルにより変化するが、 1. アプリケーションソフト（Word・Excel・Power-Point）の演習 2. プレゼンテーション技能の習得 3. 情報の取り扱い 4. その他														
成績評価の方法と基準	講義の参加と課題により総合評価														
開示する試験問題等	成績及び出席状況等を開示する。														
開示方法	閲覧を希望する者（履修登録した者に限る）は、オフィスアワーの時間帯に担当教員の研究室まで来ること。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プリント等を用意する</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	プリント等を用意する							
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
プリント等を用意する															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)								
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名称	URL												
名称	URL														
オフィスアワー	水曜日3校時及び随時行う														
その他															

開講年度	2012	開講時期	前学期												
科目コード	31061000														
科目名	実用外国語														
担当教員（所属）	マッカーサー（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	月曜 6 時限, 水曜 1 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	The content of this class will vary according to the needs and abilities of the students who enroll. In principle, however, it is intended for postgraduate students who plan to write their research thesis at Saga University in English, or who will need to write up research in English in future. Therefore, the content will focus on academic writing.														
開講意図	See above.														
到達目標	See above.														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画															
成績評価の方法と基準	Continuous assessment.														
開示する試験問題等	There will be no end-of-term exam in this subject. However, students must do all the assignments to a satisfactory level to get credit.														
開示方法	Weekly assignments will be given and assessed.														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	Wednesday, Period 2														
その他															

開講年度	2012	開講時期	後学期												
科目コード	30551800														
科目名	上級マクロ経済学研究														
担当教員（所属）	谷 晶紅（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	火曜 6 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式	ゼミ形式														
講義概要	動学的最適化の基礎的な理論について学習し、それに基づいた代表的な経済変動モデル、そのインプリケーションを紹介する。また、財政政策・金融政策の運営やあり方を検討する。														
開講意図	動学的最適化の基礎を学習し、動学的最適化に基づいた経済変動の分析を行う														
到達目標	インフレーション、財政赤字、金融政策などの経済問題に対する理解が深まるようになる。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	一回目 ガイダンス 二回目 新古典派経済成長モデル（1）：ソロー・スワン経済成長モデル 三回目 新古典派経済成長モデル（2）：位相図による分析、数式による分析 四回目 新古典派経済成長モデル（3）：貯蓄率の変化の影響、政策的インプリケーション 五回目 新古典派経済成長モデル（4）：環境と経済成長 六回目 世代重複モデル 七回目 実物的景気循環理論（1）：リアル・ビジネス・サイクルの基本モデル 八回目 実物的景気循環理論（2）：特殊ケースのモデル 九回目 実物的景気循環理論（3）：モデルのインプリケーション、拡張と限界 十回目 経済変動に関するケインジアン理論 十一回目 ニューケインジアン経済学 十二回目 消費 十三回目 投資 十四回目 インフレーションと金融政策 十五回目 財政赤字と財政政策														
成績評価の方法と基準	規定の出席回数を満たしていることを前提に、担当した内容の説明、質疑応答、およびディスカッションへの参加を含めた平素の成績（70%）とレポート（30%）で総合的に評価する。														
開示する試験問題等	なし														
開示方法	なし														
教科書	<table><tr><td>資料名</td><td>版</td><td>著者名</td><td>発行所名 発行者名</td><td>出版年</td><td>備考 （巻冊：上下, ISBN等）</td></tr><tr><td>上級マクロ経済学</td><td></td><td>デビッド・ローマー</td><td>日本評論社</td><td>2010</td><td>第3版</td></tr></table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 （巻冊：上下, ISBN等）	上級マクロ経済学		デビッド・ローマー	日本評論社	2010	第3版
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 （巻冊：上下, ISBN等）										
上級マクロ経済学		デビッド・ローマー	日本評論社	2010	第3版										
参考図書	<table><tr><td>資料名</td><td>版</td><td>著者名</td><td>発行所名 発行者名</td><td>出版年</td><td>備考 （巻冊：上下, ISBN等）</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 （巻冊：上下, ISBN等）						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 （巻冊：上下, ISBN等）										
リンク	<table><tr><td>名称</td><td>URL</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	木曜日 13：00～14：30														
その他															

開講年度	2012	開講時期	後学期																			
科目コード	30660600																					
科目名	日本社会史研究																					
担当教員（所属）	宮島 敬一（経済学部）																					
単位数	2																					
曜日・校時	月曜 5 時限																					
曜日・校時 追記																						
講義形式	講義																					
講義概要	近江および肥前の戦国期社会の諸相を論ずる																					
開講意図	戦国期社会の歴史的・特異性・現代社会への規定性を理解させる																					
到達目標	日本史上における戦国期社会の位置・意義の理解																					
聴講指定																						
履修上の注意																						
授業計画	1) 戦国期権力の形成と村落 2) 戦国期の在地法秩序 3) 戦国期の地方寺社と地域社会 4) 戦国大名六角氏権力の特質 5) 戦国大名浅井氏権力の特質																					
成績評価の方法と基準	レポート																					
開示する試験問題等	試験は課さない																					
開示方法	試験は課さない代わりにレポートの添削をする																					
教科書	<table><tr><th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr><tr><td>戦国期社会の形成と展開</td><td></td><td>宮島 敬一</td><td>吉川弘文館</td><td>1996</td><td></td></tr><tr><td>浅井氏三代</td><td></td><td>宮島 敬一</td><td>吉川弘文館</td><td>2008</td><td></td></tr></table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	戦国期社会の形成と展開		宮島 敬一	吉川弘文館	1996		浅井氏三代		宮島 敬一	吉川弘文館	2008	
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)																	
戦国期社会の形成と展開		宮島 敬一	吉川弘文館	1996																		
浅井氏三代		宮島 敬一	吉川弘文館	2008																		
参考図書	<table><tr><th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)																	
リンク	<table><tr><th>名称</th><th>URL</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>				名称	URL																
名称	URL																					
オフィスアワー	月曜4校時																					
その他																						

開講年度	2012	開講時期	後学期												
科目コード	30695000														
科目名	開発経済学研究														
担当教員（所属）	ラタナーヤカ（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	月曜 2 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	本講義は、経済発展に対する制度的要因（行政機関、政治、民主主義、教育、言語、文化、倫理、宗教、社会的価値意識など）の役割について、批評的かつ比較的に議論された分析を紹介するものである。特に、戦後の日本とアジアの経験を、理論的かつ実証的に分析しながら講義を進めていく。また、アジア諸国の貧困軽減に対するソーシャル・ビジネスの効果について講義を行う。講義は開発経済学と制度経済学の科目のもとで、以下のことを中心にして行う予定である。 1. 経済発展概念とその過程 2. 発展途上諸国の経済発展に対する制度的要因の問題点 3. 発展途上諸国の経済発展に対する諸政策 4. ソーシャル・ビジネスと貧困軽減														
開講意図	講義の後、意見交換														
到達目標	経済発展に対する理論的かつ実証的なことについて理解してもらうこと。														
聴講指定	大学院生（修士課程、博士課程）および研究生を対象とする。														
履修上の注意	欠席をしないこと														
授業計画	具体的な講義の目次は以下の通りである。 1. 経済発展に対する伝統的な考え方：先進国はいかにして先進国になりえたのか 2. 制度と経済発展：「グッド・ガバナンス」の歴史的分析 3. 経済発展に対する制度的要因の役割：アジアの経験を中心にして 4. なぜ、日本は成功したのか①：制度的要因と経済発展に関する日本の教訓 5. なぜ、日本は成功したのか②：日本の近代化の過程分析 毎回の授業の予習を行う。														
成績評価の方法と基準	アサインメント I (30%)、アサインメント II (40%)、プレゼンテーション能力 (15%)、出席率 (15%) などを評価の方法とする。														
開示する試験問題等	試験は実施しない。														
開示方法	試験は実施しない														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊：上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用する教材や講義の進め方は、受講者の関心を考慮して決めることにする。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)	使用する教材や講義の進め方は、受講者の関心を考慮して決めることにする。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)										
使用する教材や講義の進め方は、受講者の関心を考慮して決めることにする。															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊：上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	講義終了後														
その他															

開講年度	2012	開講時期	後学期												
科目コード	30705200														
科目名	比較労働経済研究Ⅱ														
担当教員（所属）	富田 義典（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	火曜 4 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式	少人数なのでゼミナール形式で行う。														
講義概要	主に日本の雇用問題を欧米の雇用問題との比較で考えます。失業問題、労使関係、労働時間問題（残業問題）、技能訓練、賃金問題などを、資料・データを手元におきつつ分析・解説します。														
開講意図	今日の日本の雇用問題の特徴をつかんでもらう。														
到達目標	開講意図に同じ。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	1. イントロダクション 2. 日本の労使関係 3. 欧米の労使関係 4. 日本の労働組合の機能 5. 欧米の労働組合の機能 6. 労働市場の機能 7. 日本の不安定雇用問題 8. 欧米の不安定雇用問題 9. まとめ														
成績評価の方法と基準	平常の受講状況で判断します。 成績の閲覧とコメントを希望するものは、試験成績に関するオフィスアワーのときに研究室に来ること。														
開示する試験問題等	試験形式での成績判定は行わない。														
開示方法	開示を希望するものは、指定されたオフィスアワーに研究室をたずねること。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">開講前にお知らせします。</td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	開講前にお知らせします。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
開講前にお知らせします。															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6"></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td></tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	火曜日 5 時間目														
その他															

開講年度	2012	開講時期	後学期												
科目コード	30592150														
科目名	地域経済論研究														
担当教員（所属）	戸田 順一郎（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	木曜 6 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	本講義は、地域経済に関わる理論的、実証的研究を国内外の文献に基づき概観、考察すること、およびそこから得られた視角をもとに現実の地域構造や地域経済に関する理解を深めることを課題とする。ただし、受講者の関心を考慮したうえで初回の講義時に決定したい。														
開講意図	地域経済論に関わる諸理論についての理解を深めること。														
到達目標	現実の地域構造や地域経済を分析するための視座の獲得。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	担当者による報告と、それに基づく参加者全員による討論という形式ですすめる。														
成績評価の方法と基準	平素の出席状況、授業中の発表、レポート内容などから総合的に評価する。														
開示する試験問題等	特になし。														
開示方法	評価等の開示を希望する者はメールにて申込むこと。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講義の中で指示する。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	講義の中で指示する。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
講義の中で指示する。															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	水曜日 2 校時														
その他															

開講年度	2012	開講時期	後学期												
科目コード	30741000														
科目名	福祉政策研究														
担当教員（所属）	森 周子（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	水曜 2 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	社会保障の日独比較を行うことにより、先進諸国の社会保障制度の現状と課題について理解を深める。														
開講意図	先進諸国の社会保障制度の現状と課題について理解を深める。														
到達目標	先進諸国の社会保障制度の現状と課題について理解を深め、今後の展開についても展望できるようにする。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	初回に受講者との相談により輪読文献を決め、輪読形式で進める。														
成績評価の方法と基準	平常点（講義への参加意欲及び出席状況）。														
開示する試験問題等	特になし。														
開示方法	特になし。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初回の講義時に受講生と相談の上、決定する。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	初回の講義時に受講生と相談の上、決定する。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
初回の講義時に受講生と相談の上、決定する。															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>版</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 発行者名</th> <th>出版年</th> <th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	水曜3限。もしくは随時（mori@cc.saga-u.ac.jpにて事前アポを受け付ける）。														
その他															

開講年度	2012	開講時期	後学期												
科目コード	30830000														
科目名	経営財務論研究														
担当教員（所属）	大坪 稔（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	木曜 4 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式	講義形式で行う														
講義概要	本講義では、経営財務、すなわち資金の側面からとらえた企業経営について学習する。さらに、財務数値を用いた簡単な実証分析の方法についても学習する。														
開講意図	経営財務に関する理論の習得														
到達目標	経営財務の理論を用い、財務数値を用いた実証分析														
聴講指定	大学院 1， 2 年生														
履修上の注意															
授業計画	1週：財務とは？ 2週：投資はどのように決定されるのか(1) 3週：投資はどのように決定されるのか(2) 4週：資金調達と資本構成に関する議論(1) 5週：資金調達と資本構成に関する議論(2) 6週：エージェンシーセオリー 7週：ポートフォリオ理論(1) 8週：ポートフォリオ理論(2) 9週：株価・債権の価格決定要因と変動要因 10週：フリーキャッシュフローとEVA 11週：配当政策 12週：財務面からみたM&A 13週：資本市場の役割と効率性 14週：近年の日本企業の財務行動(1) 15週：近年の日本企業の財務行動(2)														
成績評価の方法と基準	・ 講義への出席と質問内容により、評価 ・ 評価等の開示は、オフィスアワー時に研究室にて行う														
開示する試験問題等	講義への出席と質問内容により、評価														
開示方法	評価等の開示は、オフィスアワー時に研究室にて行う														
教科書	<table><tr><th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr><tr><td>未定</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	未定					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
未定															
参考図書	<table><tr><th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table><tr><th>名称</th><th>URL</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	月曜4限														
その他															

開講年度	2012	開講時期	後学期														
科目コード	30800000																
科目名	地域データ解析研究																
担当教員（所属）	常盤 洋一（経済学部）																
単位数	2																
曜日・校時	金曜2時限																
曜日・校時 追記																	
講義形式	テキストを輪読する																
講義概要	地域を分析するためには、地域のデータを統計的・数理的に解析することが不可欠である。この講義では、単に数理統計学を学ぶだけではなく、実際のデータ解析への応用を主眼とし、実践的な技法を習得することを目標とする。																
開講意図	数理統計学から、地域システムの状況を分析する技術を身に着ける。																
到達目標	数理統計学の、高度な技術を身に着ける。																
聴講指定																	
履修上の注意	パソコンの指導は行わないので、各自自習すること。																
授業計画	1. 平均・分散・標準偏差 各自Excelを使って計算方法を復習すること（以下同様） 2. 相関係数 3. 平均値の有意差検定 4. 分散の有意差検定 5. 回帰分析 6. ダミー回帰分析 7. パス解析 8. 主成分分析 9. 数量化I類 10. 数量化II類 11. 数量化III類																
成績評価の方法と基準	出席とレポートによる。レポートは各自目標を立ててデータを収集し解析すること。																
開示する試験問題等	レポートなので行わない。																
開示方法	レポートなので行わない。																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計量分析のための統計解析技法</td><td></td><td>内山俊典</td><td>晃洋書房</td><td>2002年</td><td>ISBN4-7710-1320-9</td></tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	計量分析のための統計解析技法		内山俊典	晃洋書房	2002年	ISBN4-7710-1320-9
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
計量分析のための統計解析技法		内山俊典	晃洋書房	2002年	ISBN4-7710-1320-9												
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					名称	URL										
名称	URL																
オフィスアワー	金曜日12:00～13:00																
その他																	

開講年度	2012	開講時期	後学期																		
科目コード	30823100																				
科目名	応用統計研究																				
担当教員（所属）	中村 博和（経済学部）																				
単位数	2																				
曜日・校時	水曜 6 時限																				
曜日・校時 追記																					
講義形式																					
講義概要	一般化線形モデルの枠組みで、よく使われる統計手法である線形回帰、分散分析、ロジスティック回帰、分割表の対数線形モデルをまなぶ。																				
開講意図	統一的な視点でまなぶことにより線形回帰と分散分析については理解を深めることになり、ロジスティック回帰、分割表の対数線形モデルについては理解しやすくなるであろう。																				
到達目標	モデルの意味と適用可能なデータについて理解し、ソフトウェアを使って結果を出して、その解釈ができるようになる。																				
聴講指定																					
履修上の注意	線形回帰分析を学んだことがあることが望ましい。基本的に講義形式でおこなうが演習問題の発表などをおこなってもらうことがある。																				
授業計画	以下の項目の 1 から 4 にそれぞれ 3 コマをあてて。 0. イントロダクション：モデルのあてはめ 1. 重回帰 2. 分散分析と共分散分析 3. ロジスティック回帰 4. 対数線形モデル																				
成績評価の方法と基準	出席と課題提出によって判断する。																				
開示する試験問題等	課題の解答例など																				
開示方法	受講生に直接配布する。																				
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊：上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般線形化モデル入門</td><td></td><td>A. J. ドブソン</td><td>共立出版</td><td>2008</td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)	一般線形化モデル入門		A. J. ドブソン	共立出版	2008							
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)																
一般線形化モデル入門		A. J. ドブソン	共立出版	2008																	
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊：上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Extending the Linear Model With R</td><td></td><td>Julian James Faraway</td><td>Chapman & Hall</td><td>2006</td><td>158488424X</td></tr> <tr> <td>Linear Models With R</td><td></td><td>Julian James Faraway</td><td>Chapman & Hall</td><td>2004</td><td>1584884258</td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)	Extending the Linear Model With R		Julian James Faraway	Chapman & Hall	2006	158488424X	Linear Models With R		Julian James Faraway	Chapman & Hall	2004	1584884258
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)																
Extending the Linear Model With R		Julian James Faraway	Chapman & Hall	2006	158488424X																
Linear Models With R		Julian James Faraway	Chapman & Hall	2004	1584884258																
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			名称	URL																
名称	URL																				
オフィスアワー	金曜日 5 校時あるいは講義終了後。																				
その他																					

開講年度	2012	開講時期	後学期												
科目コード	30831700														
科目名	現代労使関係研究Ⅱ														
担当教員（所属）	平地 一郎（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	月曜6時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	現代の労使関係に関する文献を読み進めていきます。														
開講意図	今日の労働問題は、現代国家との関係なしには理解できません。その意味を考えます。														
到達目標	上記の問題の意味を理解する。														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	I 現代の労働問題の所在 II 資本主義国家と労働問題 III 新自由主義の労働改革論 IV 新自由主義批判とその検討 テキストは、相談の上決定します。														
成績評価の方法と基準	日頃の報告と討論を総合的に判定して行います。														
開示する試験問題等	該当なし。														
開示方法	該当なし。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テキストは、相談の上、決定します。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	テキストは、相談の上、決定します。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
テキストは、相談の上、決定します。															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	水3														
その他															

開講年度	2012	開講時期	後学期														
科目コード	30862500																
科目名	経営管理史研究																
担当教員（所属）	山本 長次（経済学部）																
単位数	2																
曜日・校時	水曜 2 時限																
曜日・校時 追記																	
講義形式																	
講義概要	今日的あるいは歴史的な経営管理のケースや理論の分析を深め、さらに調べてきたことの報告などをおこなっていきます。																
開講意図	各受講生の関心に応じて、経営管理に対する理解を深めます。																
到達目標	本授業が、大学院のレベルのものとして、各受講生の経営学に対する教養の取得や、専門的理解に資することをもって、一定の到達点とします。																
聴講指定																	
履修上の注意																	
授業計画	広く経営やその歴史について、受講者の関心に即して資料、論文、テキストなどを適宜を設定しながら読解を進め、理解を深めていきます。 今回は複数の受講者各人の関心に即して、国内外の著名な企業の経営のケーススタディを取り上げたり、各自が調べてきたことを報告したり、担当教員が資料やビデオ教材等も用いながらレクチャーをおこなったりしました。さらに、企業の方のお話をうかがったり、企業に訪れる機会を提供したりもしました。 要望がありましたら、企業への訪問やフィールドワーク等の実施も検討したいと思います。 1週：毎回の予習、復習、展開的な自学自習を欠かさずお願いします																
成績評価の方法と基準	出席状況、参加意識、報告やレポートの内容などから判断します。 また、成績評価への照会については、履修登録した希望者本人のみに対して受け付けます。その際は、できるだけ評価を確認した早いタイミングで、研究室を訪ねてください。不在の際は、研究室前に掲示してあるメールアドレスの方に連絡してもらい、対応日時についての調整をします。																
開示する試験問題等	特に試験は実施しておりません。																
開示方法	評価については、各受講生からの照会に対して対応します。																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各受講生と相談の上、必要に応じてテキストや参考文献を適宜指示します。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	各受講生と相談の上、必要に応じてテキストや参考文献を適宜指示します。					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
各受講生と相談の上、必要に応じてテキストや参考文献を適宜指示します。																	
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					名称	URL										
名称	URL																
オフィスアワー	火1とするとともに、適宜対応します。																
その他																	

開講年度	2012	開講時期	後学期												
科目コード	30910000														
科目名	財務会計論研究														
担当教員（所属）	山形 武裕（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	木曜 6 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	日本では、連結会計、時価会計、キャッシュ・フロー計算書、税効果会計、退職給付会計、減損会計などの会計基準が、2000年以降新たに導入あるいは改正されている。本講義ではこのような会計ビッグバンと呼ばれる会計制度改革を学び、なぜそのような会計基準が導入されたのか、そしてどのような影響を与えたのかについて考えていきます。														
開講意図	現行の会計基準を過去の会計基準と比較、または国際会計基準と比較して議論します。														
到達目標	具体的には、会計基準の修正項目または差異を考察することで、現行会計基準の理解を深めると共に、問題点を議論する能力の習得が目標です。														
聴講指定															
履修上の注意	なお、各自に課題を割り振るので講義時間前に準備を整え、各講義時間後には指摘された事項ならびに他の報告を参考に各自の課題を検討しなすこと。														
授業計画	授業計画は講義初日に提示します。														
成績評価の方法と基準	出席状況と期末試験または報告状況から評価します。 なお、期末試験による場合は、研究室にて希望者に解答を説明します。														
開示する試験問題等	成績評価の判断資料（課題等）を個別に開示します。														
開示方法	希望者には研究室にて個別に対応します。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テキストは初回講義で指定します</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	テキストは初回講義で指定します					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
テキストは初回講義で指定します															
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	水曜日3校時														
その他															

開講年度	2012	開講時期	後学期												
科目コード	30931200														
科目名	管理会計論研究Ⅱ														
担当教員（所属）	小川 哲彦（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	金曜 6 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	企業は、環境負荷物質の排出を防止・削減する活動、すなわち環境保全活動に積極的に取り組んでいます。こうした環境保全活動を企業の経営者の意思決定に反映させるために、企業内部で環境関連の財務情報および物量情報を把握し、測定し、分析し、伝達する会計分野が環境管理会計です。そこで本講義では、環境管理会計における原価管理および投資意思決定等に関する各種の手法について研究します。														
開講意図	環境管理会計における各種手法を理解することを目的とします。														
到達目標	環境管理会計における各種手法の理解														
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	毎週、受講者にテキスト・教材の報告担当箇所を事前に割りあて、報告者がレジュメを作成し、報告し、討論します。														
成績評価の方法と基準	出席、報告内容等から総合的に判断します。														
開示する試験問題等	過去の報告資料														
開示方法	開示を希望する学生は、研究室へ来てください。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊：上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境管理会計入門 理論と実践</td><td></td><td>国部 克彦Ⅱ編著, 経済産業省産業技術環境局Ⅱ監修</td><td>産業環境管理協会</td><td>2004</td><td>4914953854</td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)	環境管理会計入門 理論と実践		国部 克彦Ⅱ編著, 経済産業省産業技術環境局Ⅱ監修	産業環境管理協会	2004	4914953854
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)										
環境管理会計入門 理論と実践		国部 克彦Ⅱ編著, 経済産業省産業技術環境局Ⅱ監修	産業環境管理協会	2004	4914953854										
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊：上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	木曜 2 限														
その他															

開講年度	2012	開講時期	後学期														
科目コード	30943000																
科目名	国際会計論研究																
担当教員（所属）	山下 壽文（経済学部）																
単位数	2																
曜日・校時	火曜 3 時限																
曜日・校時 追記																	
講義形式																	
講義概要	国際会計基準の日本や米国などの各国における導入状況、それに対する各国の反応を把握し、国際会計基準と日本の会計基準を比較検討し、その相違点を明らかにする。																
開講意図	国際会計基準導入の課題を考える。																
到達目標	国際会計基準導入のメリットとデメリットを把握する。																
聴講指定	特になし！																
履修上の注意	毎回出席をとります。遅刻をしないように！次回の講義内容を指示しますので予習をしてくること！																
授業計画	開講時に事業計画表を配布します。																
成績評価の方法と基準	小テスト3回×10点、出席点15点、レポート55点、合計100点																
開示する試験問題等	オフィス・アワーにて解答を開示する。																
開示方法	成績開示オフィス・アワーは掲示にて連絡																
教科書	<table><tr><th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊：上下, ISBN等)</th></tr><tr><td>国際会計論</td><td></td><td>山下壽文</td><td>プリント</td><td></td><td></td></tr></table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)	国際会計論		山下壽文	プリント		
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)												
国際会計論		山下壽文	プリント														
参考図書	<table><tr><th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊：上下, ISBN等)</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊：上下, ISBN等)												
リンク	<table><tr><th>名称</th><th>URL</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>					名称	URL										
名称	URL																
オフィスアワー	火曜日 2 校時																
その他	講義時に資料配布。																

開講年度	2012	開講時期	後学期												
科目コード	30952000														
科目名	企業法研究Ⅱ														
担当教員（所属）	小西 みも恵（経済学部）														
単位数	2														
曜日・校時	木曜 1 時限														
曜日・校時 追記															
講義形式															
講義概要	この講義では、会社法に関する最近の判例を素材として、株式会社法の論点を検討します。														
開講意図	この講義は、判例の検討を通して、会社法制度のあり方を探ることを目的としています。														
到達目標	この講義は、会社法のより深い知識を習得したうえで、法制度上の論点に対する自己の見解を持つことを目標としています。														
聴講指定															
履修上の注意	商法および民法の基礎的な知識をすでに習得していることを前提とします。														
授業計画	各自 1 つの判例を担当してもらいます。担当者は、事例の概要、学説・裁判例の状況、当該判例の検討をまとめたレジュメを作成してください。授業では、担当者による発表の内容に基づき、全員で議論します。														
成績評価の方法と基準	出席状況、発表の内容および授業時の発言等を総合的に判断して、評価します。														
開示する試験問題等	成績評価の対象となるものはすべて														
開示方法	成績の根拠資料については成績発表後に個別に開示しますので、開示を希望する人は事前にメール（konishim@cc.saga-u.ac.jp）で申し込んでください。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年度重要判例解説</td><td></td><td></td><td>有斐閣</td><td>2011年</td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	平成23年度重要判例解説			有斐閣	2011年	
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
平成23年度重要判例解説			有斐閣	2011年											
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013年度版六法</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	2013年度版六法					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)										
2013年度版六法															
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			名称	URL										
名称	URL														
オフィスアワー	金曜日 1 校時														
その他															

開講年度	2011	開講時期	前学期												
科目コード	30544100, 30544200, 30544300, 30544400														
科目名	フィールドワーク														
担当教員（所属）	全教員														
単位数	2														
曜日・校時															
曜日・校時 追記	集中講義														
講義形式															
講義概要	教員の指導の下で、国内外の金融機関、行政機関、国際機関、民間企業、農村農業団体、工場、法務・経理関連オフィス、商店街、商工経済団体などを対象に調査研究を行い、レポートを作成して提出する。														
開講意図															
到達目標															
聴講指定															
履修上の注意															
授業計画	開講時に通知する。														
成績評価の方法と基準	平素の成績、およびレポート提出による。														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 ・ 発行者名</th> <th>ISBN・ISSN</th> <th>出版 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>					資料名	著者名	発行所名 ・ 発行者名	ISBN・ISSN	出版 年					
資料名	著者名	発行所名 ・ 発行者名	ISBN・ISSN	出版 年											
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 ・ 発行者名</th> <th>ISBN・ISSN</th> <th>出版 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>					資料名	著者名	発行所名 ・ 発行者名	ISBN・ISSN	出版 年					
資料名	著者名	発行所名 ・ 発行者名	ISBN・ISSN	出版 年											
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>					名称	URL								
名称	URL														
オフィスアワー															
その他															

開講年度	2012	開講時期	前学期													
科目コード	30545000															
科目名	総合セミナー															
担当教員（所属）																
単位数	2															
曜日・校時																
曜日・校時 追記	前期（7月初めから8月初めの各週1回）に行います															
講義形式																
講義概要	修士論文の作成についていろんなノウハウを講義する。 また、修士論文の中間発表を行い、学生と教員相互によりディスカッションすることで、修士論文の質を高めることを狙いとする。															
開講意図	修士論文を執筆するにあいの、① 基本的な考え方・姿勢。② 学術的ルールと論文構成、③ データ分析の手法、④ プレゼンテーションの方法について学び、⑤以上にもとづいて中間報告を行い、それをもとにディスカッションする。															
到達目標	修士論文の構想、構成、引用の仕方、資料やデータの収集、執筆要領、発表の方法など規則を身につけること。修士論文の中間発表を行って、完成までの道程を考える。															
聴講指定	2年生が対象ですが、1年生も参加可能（将来の修士論文作成に役立てるため）。															
履修上の注意																
授業計画	1～2回 修士論文に求められている基本的、基礎的なことから 3～4回 修士論文の基本的な学術ルールと論文構成の規則 5～6回 データ分析の手法 7～8回 プレゼンテーションの技法 9～10回 中間発表とディスカッション 11～12回 中間発表とディスカッション 13～15回 中間発表とディスカッション これまでの「まとめ」															
成績評価の方法と基準	出席、報告・発表などを総合的に成績評価する。 成績評価については、「成績評価問合せのオフィスアワー」に質問してください。															
開示する試験問題等	試験は行わないが、必ず中間発表をすること。															
開示方法	試験は実施しない。															
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プリントを配布します</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	プリントを配布します					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)											
プリントを配布します																
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)						
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)											
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				名称	URL										
名称	URL															
オフィスアワー	金曜日Ⅳ・Ⅴ時間目（専攻長 納富研究室）															
その他																

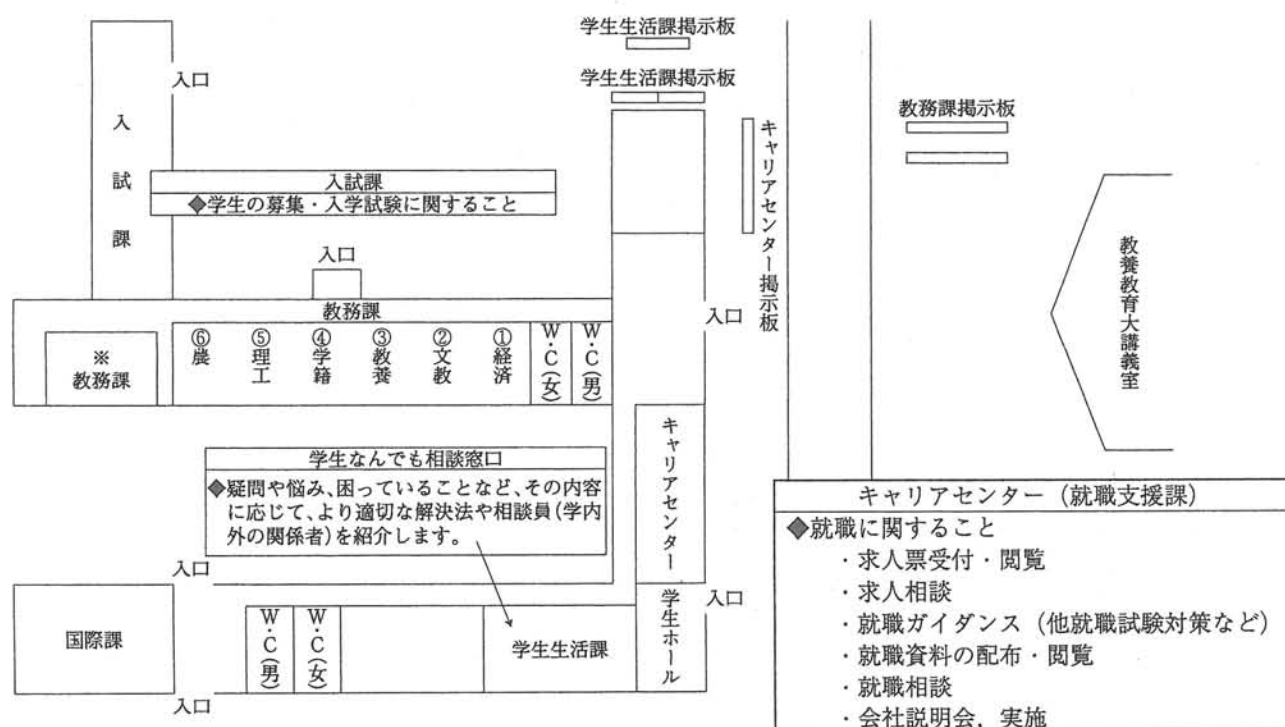
開講年度	2012	開講時期	前学期														
科目コード	30545000																
科目名	総合セミナー																
担当教員（所属）																	
単位数	2																
曜日・校時																	
曜日・校時 追記	前期(夏季) 集中																
講義形式																	
講義概要	企業経営専攻の院生が最低1回ないし2回の報告と検討を行い、全体で15回の講義とする。																
開講意図	院生の研究テーマ（修士論文）についての概要を報告させ、それについての指導を行う。																
到達目標	院生の研究テーマ（修士論文）の中間報告の指導を行い、最終的に修士論文を完成させる。																
聴講指定																	
履修上の注意	出席、報告を重視する。																
授業計画	企業経営専攻の院生が最低1回ないし2回の報告と検討を行い、全体で15回の講義とする。																
成績評価の方法と基準	成績評価の方法—各回のプレゼンテーションを各担当教員が評価し、実施責任者がとりまとめ、60点以上を合格とする。 成績の評価基準—選択した題材が修士論文作成の内容に適合していること。 報告者が自身の主張を適切にプレゼンテーションできること。 討論に積極的に参加すること。																
開示する試験問題等	開示———評価等の開示は指導教員の研究室で行う。																
開示方法	開示———評価等の開示は指導教員の研究室で行う。																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特に指定なし。ただし報告に必要な文献は随時演習時に紹介している</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	特に指定なし。ただし報告に必要な文献は随時演習時に紹介している					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
特に指定なし。ただし報告に必要な文献は随時演習時に紹介している																	
参考図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th><th>版</th><th>著者名</th><th>発行所名 発行者名</th><th>出版年</th><th>備考 (巻冊:上下, ISBN等)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用しない</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)	使用しない					
資料名	版	著者名	発行所名 発行者名	出版年	備考 (巻冊:上下, ISBN等)												
使用しない																	
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>URL</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					名称	URL										
名称	URL																
オフィスアワー	主任指導教員、副主任指導教員を中心として参加教員の研究室等																
その他																	

大学院マニュアル

●学生センターの配置図及び業務

教務課	
※教育企画担当	※教務管理担当
◆授業評価に関する事	◆学生証に関する事 ◆学生の身上に関する事 改姓・改名・住所変更・保証人変更等

教務課		
①②③⑤⑥各教務担当	③教養教育管理担当	④学籍管理担当
◆専門科目の実施・履修相談等に関する事 ◆各種証明書の申請・交付に関する事 ◆大学院の学位申請に関する事 ◆教育職員免許取得に関する事 ◆追・再試験等に関する事 ◆転学・転学部・転課程・転専攻等に関する事 ◆教育実習に関する事	◆教養教育科目のティーチングアシスタントに関する事	◆異動に関する事 ・休学、復学、退学 ◆科目等履修生に関する事 ◆研究生に関する事 ◆単位互換に関する事



国際課
◆留学生に関する事 ・国費外国人留学生給与 ・外国人留学生奨学金 ・国際交流会館 ・住宅総合補償 ・留学生チーター申請 ・申請書の申請・交付 ・資格外活動申請 ・再入国申請 ・在留期間更新申請 ・証明書の発行 ・国費外国人留学生証明書 ・各種奨学金受給証明書 ◆日本人学生に関する事 ・海外短期派遣 ・海外語学研修

学生生活課
◆入学科・授業料の免除・徴収猶予に関する事 ◆奨学金に関する事 ◆学生教育研究災害傷害保険に関する事 ◆学生寮に関する事 ◆課外活動に関する事 ◆大学会館、サークル会館、合宿研修所に関する事 ◆体育施設に関する事 ◆自動車入構許可に関する事 ◆旅客運賃割引に関する事 ◆通学定期に関する事 ◆遺失物・拾得物に関する事

大学院教務担当のお知らせ

● 授業料の納付（担当：財務部経理調達課収入係）

区 分	納 付 期 限	備 考
授業料……年額535,800円	前期 5月31日	所定の期日を過ぎても納付を怠ったときは、除籍されることがありますので、滞納しないようにして下さい。
前期（4～9月分）267,900円	後期 11月30日	
前期（10～3月分）267,900円		

● 授業料の免除（担当：学生生活課）

下記のいずれかに該当する場合は、本人の申請により、選考のうえ、授業料の全額又は半額が免除されることがあります。また免除のほか、徴収猶予、月割分納の制度もあります。

- 経済的理由（負債は除く）により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合。
- 納期前6ヶ月以内（新入生の1年次前期の場合は入学前1年以内）において、学資負担者が死亡し、又は学生もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難と認められる場合。

授業料の免除、徴収猶予及び月割分納の申請の期日、方法等については、前期分（1月頃）と後期分（7月頃）の年2回、「授業料免除関係掲示板」（鍋島キャンパスは「学生サービス課掲示板」）に掲示します。

なお、同時期に佐賀大学学生センター HP内「授業料免除」ページに申請書類等をアップロードしますので、申請希望者は各自印刷してください。

（ホームページアドレス <http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/>）

● 奨学金制度（ホームページアドレス <http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/>）

1. 日本人学生（担当：学生生活課）

本学で取り扱っている奨学金の概要は次のとおりです。

(1) 日本学生支援機構の奨学金

教育の機会均等に寄与することを目的として、人物・学業とも優れ経済的理由により修学困難な学生に貸与されます。

(2) 地方公共団体及び民間育英団体の奨学金

地方公共団体及び民間育英団体の奨学金には、地域を限定し、その地区出身者に限る奨学金や学部・専攻等を指定した奨学金があります。

詳細については、学生生活課に問い合わせてください。

2. 留学生（担当：国際課）

(1) 私費外国人留学生学習奨励費

人物・学業ともに優れている留学生に支給されます。

(2) 民間団体等の奨学金

民間団体等の奨学金には、出身国・出身地域及び学部等を指定する奨学金があります。

詳細については、国際課に問い合わせてください。

学生相談・保健管理センター

● 相談機関

1. 学生相談

学生の皆さんのキャンパスライフのあらゆる疑問や悩み、困っていることを聞いて、その内容に応じて、より適切な解決法や相談員（学内外の関係者）を紹介する「学生なんでも相談窓口」を学生生活課内に設置しています。気軽に相談して下さい。

次のようなことに悩んでいたら相談に来て下さい。

- 単位のこと ● 授業料・奨学金のこと ● アルバイトのこと
- 修了のこと ● 就職・進学のこと ● スポーツ傷害、交通事故のこと等

メール：voice@mail.admin.saga-u.ac.jp

2. 学生の身体・精神面の健康上の相談

保健管理センターの学生相談室は「学生の身体・精神面の健康上の問題」について個人的相談を希望する学生のために設けられたもので、いつでも相談できます。

また、保健管理センターまで行きにくい時は、直接電話で相談することもできます。

電話番号

本庄キャンパス 0952-28-8181

平日 8:30～17:15

土・日・祝日は休みです

3. 専門家によるカウンセリング

佐賀大学学生カウンセラー相談窓口は、学生の皆さんの心や身体の相談ばかりでなく、キャンパスライフのあらゆる疑問や悩み、困っていることなどを支援するために開設しています。

相談は、直接、下記のカウンセラー（学外非常勤）

のメールアドレスか保健管理センター

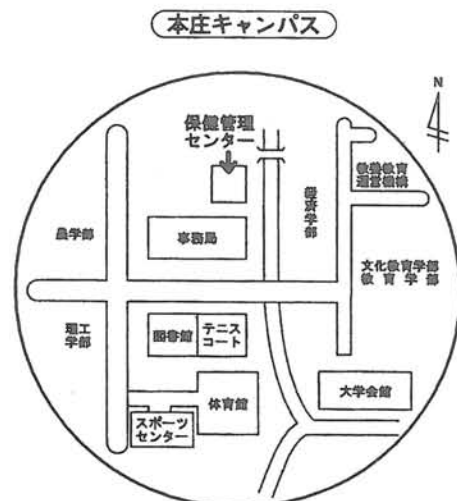
0952-28-8181に連絡して下さい。

kaunseis@mail.admin.saga-u.ac.jp

kaunseyo@mail.admin.saga-u.ac.jp

相談内容等の秘密は堅く守られますので安心して気軽に利用して下さい。

● 保健管理センター案内図



研究図書室の利用

研究図書室について

1. 研究図書室の利用について

- 研究図書館では、必ず受付を済ませてから利用してください。(所属ゼミ，学籍番号・氏名，利用目的などを，備え付けの利用簿に記載する。)
- 利用時間は，8：30から17：15までです。
- その他『利用細則』(添付資料)をご参照ください。

2. 所蔵資料について

- 研究図書室の所蔵資料は，外部に持ち出すことができません。
- 利用後の所蔵資料は所定の場所に必ず返却してください。
- 所蔵資料をコピーしたい場合は，身分証明書（学生証）等を預かることにより，室外での一時的なコピー帯出を認める場合があります。
(院生の方は下記により研究図書室内でコピーすることができます。)
- 所蔵資料については，『所蔵資料リスト』(添付資料)をご参照ください。

3. コピーカードについて

- 院生の皆さんは，年間（4月から翌年3月末の間）1,000枚までコピーができます。
- 個人別のコピーカードを，研究図書室の院生用引き出しにまとめて入れています。
- 利用後は必ず院生用引き出しに戻してください。

4. その他

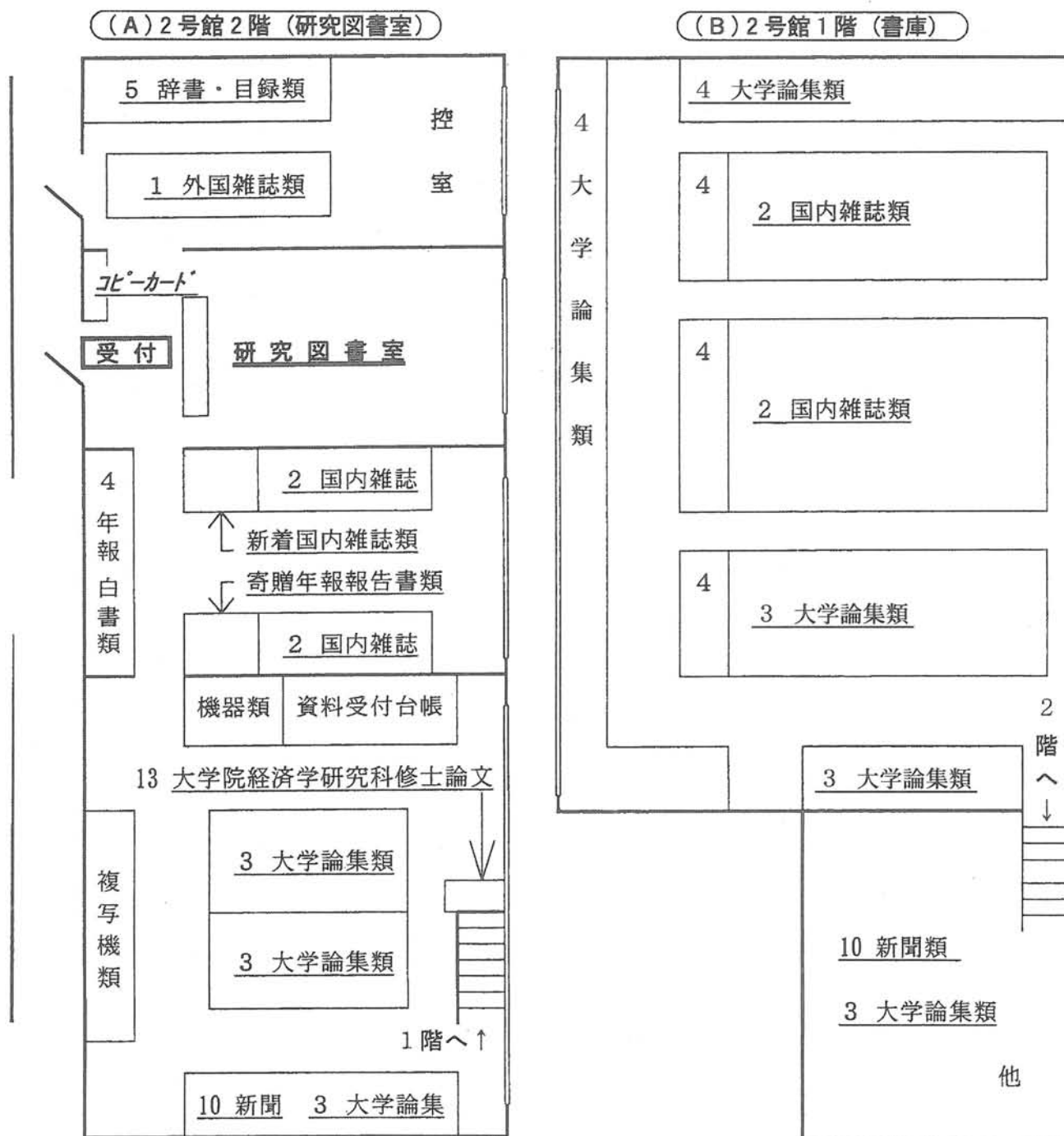
- 研究図書室は経済学部2号棟の2階です。コピー利用だけの場合も必ず受付をしてください。
- * 研究図書室には2名のスタッフがいますので，気軽にお問い合わせください。
(大坪 弘／深町洋子)

所蔵資料リスト (参考)

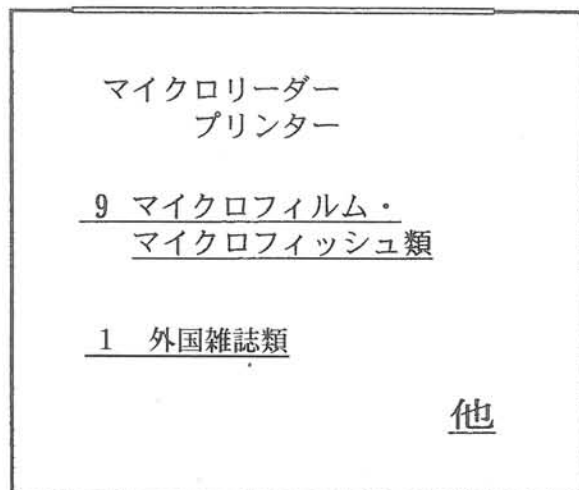
1	外国雑誌類	約 450種 (内継続 220種)
2	国内一般雑誌類(週刊・月刊等)	約 760種 (内継続 250種)
3	国内大学論集・紀要類	約 1,300種 (内継続 1,040種)
4	国内年報・白書類(年刊等)	約 500種 (内継続 250種)
	(1～4までの計)	約 3,010種 (内継続 1,760種)
5	辞書・目録類	約 430種
6	社史・市史類	約 1,950種
7	判例体系類(追録・差し替え)	約 70種
8	大審院関係	3種
	(1) 大審院判例集 3 (大13) ～ 23 (昭20)	
	(2) 大審院民事判決録 13 (明40) ～ 27 (大10)	
	(3) 大審院刑事判決録 13 (明40) ～ 27 (大10)	
9	マイクロフィルム・マイクロフィッシュ類	3種
	(1) 有価証券報告書 (東証1部 昭和24～昭和49)	
	(2) 都道府県統計書 (明治15～昭和17/戦後編なし)	
	(3) THOMAS ROBERT MALTHUS REFERENCES	
10	新聞	4種
	(1) 日本経済新聞(縮刷版)	
	(2) 日経産業新聞(縮刷版)	
	(3) FINANCIAL TIMES(1979-1+)	
	(4) THE WALL STREET JOURNAL(1979-1+)	
11	有明銀行帳簿	約 103冊
12	図書類	約 1,500冊
13	大学院経済学研究科修士論文	約 200冊

資料室（内）の配架図（参考）

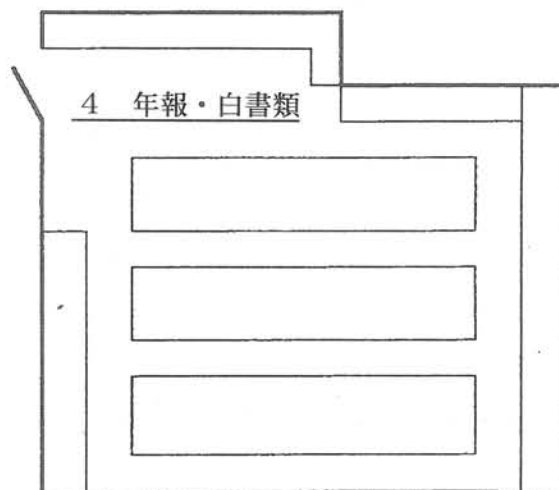
※ 数字の（１～１３）は添付資料の『所蔵資料リスト』の番号に対応しています。



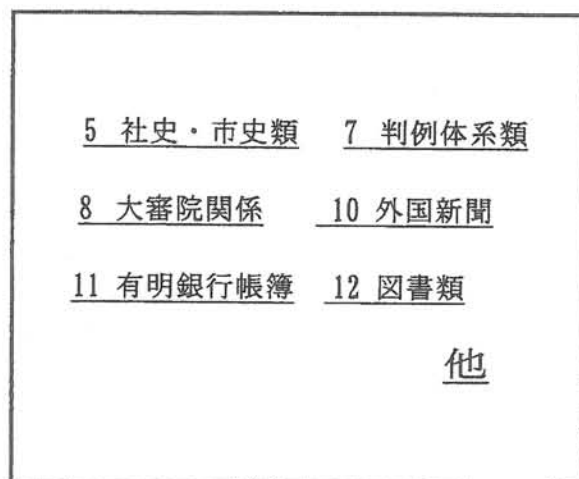
(C) 3号館1階 (資料室)



(D) 3号館1階 (外国雑誌資料室)



(E) 資料室別館 (学生センター棟)



情報演習室の利用

佐賀大学経済学研究科情報演習室等利用について

第1, 第2 情報演習室を利用できる学生は以下のとおりです。

- ① 本学部の教職員
- ② 本学部の学生, 大学院生, 研究生, 科目等履修生及び特別聴講学生
- ③ その他, 情報教育等支援室長が許可した者

第1 情報演習室・第2 情報演習室の利用

第1 情報演習室は原則として正課の授業で利用します。第1 情報演習室を授業で利用しない時間及び第2 情報演習室は原則として特別な手続きなく利用できます。ただし, 次のことに留意し利用してください。

- ① 第1, 第2 情報演習室の利用について不明な点は情報教育等支援室主任の指示に従うこと。
- ② 利用時間は原則として月曜日から金曜日の必要な場合に利用することとする。
- ③ 第1 情報演習室への入室には学生証が必要です(カードによる開錠のため)

(利用者の義務)

利用者は, 情報演習室等の設置目的に従い, 適切な利用をしてください。

特に下記の事項に注意してください。

- ① 室内の喫煙, 飲食はしないこと。
- ② 許可なく備品類を室外に持ち出さないこと。
- ③ ソフトウェアの複製を厳禁する。

地域経済研究センターの利用

研究・教育の成果を地域社会に公開するとともに、地域社会と協力して研究・教育を発展させることを目的に平成元年4月に設置。大学院生の積極的な参加を期待（特に◎の項目）。

(<http://www.eco.saga-u.ac.jp/cres>)

1. 調査研究事業部

(1) 調査・研究の推進

- 地域課題調査
- 委託調査

(2) 研究会等の開催

- ◎ 「佐賀地域経済研究会」（年6回）の開催

2. 社会連携事業部

(1) 地域との連携

(2) 学生の実践的教育・学習活動の推進

- ◎ 実地研修「ウォッチング佐賀」の実施
- 自主的な地域活動への支援

(3) 地域の生涯学習・学習活動への支援

- 佐賀大学公開講座「みんなの大学」

3. 情報化事業部

(1) 資料の収集と提供

- センター年報、調査研究報告書の提供

(2) センターHPの管理

※機関誌※

- 年報
- 所報 本年度の事業計画と前年度の事業報告（毎年6月発行）
- 調査研究報告書 佐賀県が抱える地域課題を中心に不定期に発行
- リーフレット

佐賀大学経済学会のご案内

佐賀大学経済学会は、教員と経済学部学生、大学院生によって組織される学術団体です。

経済学会は、現代社会の経済・法・政治現象および歴史の分析研究の成果を発表する場となっています。この学会は次に説明するようないくつかの活動を行っており、大学院生にも参加、ご協力いただきたいと思います。

1 研究会や講演会の開催

佐賀大学経済学部や他大学・研究機関の研究成果を公表して、ディスカッションする。

2 佐賀大学経済論集の発行

経済学会員の論文をレフリー審査して、1年間に6冊を発行

他大学・研究機関の刊行雑誌と交換して、経済学部研究図書室の資料を充実

3 学術叢書の発刊

1年間に1～2冊を発刊

教員の研究成果をまとめる

4 学生論集の発行

1年間に2冊を発刊

学生の演習（セミナー）論文や、大学院生の修士論文テーマの公表

以上のような4つの活動を支えるために、経済学会に加入していただくことをお願いいたします。会員になるには、会費を1年間に4,000円納めることが条件です。

なお、経済学会の事務局は、経済学部2号棟2階の研究図書室にありますので、ご質問があれば、お尋ねください。（連絡先 28-8452 大坪弘助手）

大学院生室利用規則

佐賀大学大学院経済学研究科大学院生室使用の案内

佐賀大学大学院経済学研究科大学院生室の使用に当たっては、この規則を遵守して下さい。

1. 室内は、常に整理、整頓し、教育・研究環境の保持に努めて下さい。
2. 火災予防に留意し、火気の使用については、備え付け以外の機器を使用しないで下さい。
3. 盗難防止に留意し、現金等は常に身に付けて下さい。
4. 退室の際は、その都度、火気の点検、戸締り及び消灯を励行し、施錠を確実に行って下さい。
5. 備え付けの物品等を無断で移動しないで下さい。
6. 施設・設備及び物品等を損傷又は汚損したときは、速やかに大学院教務担当に届け出て下さい。
7. 寝具等を持ち込み、宿泊は禁じます。
8. 室内での飲食、喫煙は禁止します。
9. 掲示等は、所定の場所以外に行わないで下さい。
10. 大学院生室の使用時間は8時30分～21時30分までとします。
また、毎週日曜の午前3時～5時はパソコンが使用できません。
11. ペット、不要な物及び部外者を大学院生室の入室を禁じます。
12. その他研究科長の指示に従って下さい。

履修案内（平成 24 年度）

発行 佐賀大学大学院経済学研究科

印刷 (株)サガプリンティング

2012. 4 発行